

取付説明書



アルパイン

11型ナビゲーションユニット/アラウンドビューカメラ映像変換キット 日産オリジナルナビ取付パッケージ装着車用

※車両 GPS/ テレビアンテナを接続できます。

車 種	年 式	型 式
セレナ / セレナハイウェイスター / セレナ AUTECH (インテリジェントアラウンドビューモニター / 日産オリジナルナビパッケージ付車)	R1/8 ~ R4/11	GC27/GNC27/GFC27/GFNC27
セレナ e-Power/ セレナ e-Power ハイウェイスター / セレナ e-Power AUTECH (インテリジェントアラウンドビューモニター / 日産オリジナルナビパッケージ)	R1/8 ~ R4/11	HC27/HFC27

当製品の適合情報は2022年11月現在のものです。商品の仕様変更および、車両の仕様変更により予告無く変更になる場合があります。
最新の適合情報は弊社最新カタログ及びホームページ (<https://www.alpine.co.jp/>) にてご確認ください。

ここでの説明は、車両部品の取り外し、キットの取付・配線位置の説明に限らせていただきます。
各製品の取り扱い、製品付属の取扱説明書をご確認ください。
取付けの際は、製品付属の取付説明書に記載されている注意事項を必ずお読みのうえ、正しく取付けを行ってください。

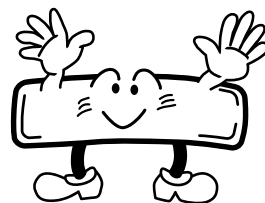
※取付け作業の前に、バッテリーのマイナス端子を外してください。

1. はじめに

- 仕様及び外観は、改良のために予告なく変更する場合があります。
- 本説明書の写真やイラストは、撮影・印刷条件により、実物と印象が相違する場合があります。

次のことに注意しながら取付け作業を進めてください。

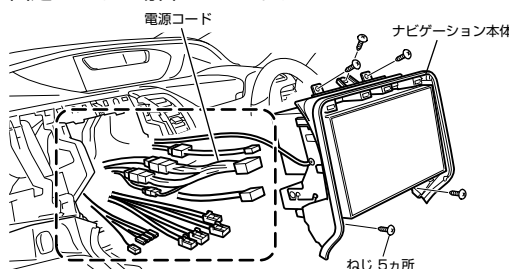
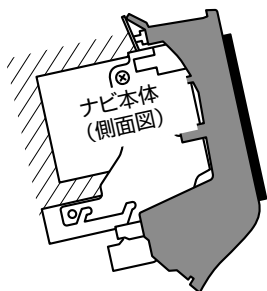
- 作業には時間がかかります。明るいうちに終了できるように余裕を持って作業してください。
- 取付けは、車種・グレード・年式によって異なります。取付けに関わる情報をお買い上げの店より入手してください。
- 車のインパネなどの「取付け取り外し情報」をお買い上げの店から入手してください。
- 動作確認の際に本機の操作を行いますので、取扱説明書も必ずお読みください。
- 希望する取付け位置に対して、コードの長さが十分にあることを確認してください。
- 接続の際は、コードに付いているラベルや本説明書を確認しながら、注意して行ってください。
- RCAコード、ピンコード
家庭用機器の信号の受け渡しに利用される、RCA社考案のコネクター付きコードをいいます。
カーオーディオはもちろん家庭のステレオ/ビデオ/テレビ等に幅広く採用されています。
白がオーディオの左チャンネル、赤が右チャンネル、黄色がビデオ信号です。
- 組み合わせる製品によって使用できない場合があります。組み合わせる製品の取付説明書も合わせてご覧ください。
- 取付け場所について
ディスクやSDカードの出し入れの際、車のシフト操作に支障がないことを確認のうえ取付け場所を設定してください。
- 水平に対して40度以内に取り付けてください。
- 不明な点はお買い上げの店、インフォメーションセンターにお問い合わせください。



注意 ナビ本体取付け時に以下の点に注意してください。

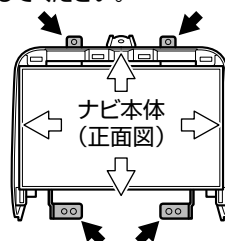
■配線の挟み込み/配線の処理について

- ナビ本体の上側/背面/下側(斜線エリア)に配線を挟みこまないように注意してください。
- ナビ本体を固定する際、無理に押し込まずに固定してください。
※ナビ本体裏側の配線は必要以上にまとめずに分散して取り付けてください。ビニールテープ等でまとめ過ぎるとナビ本体が正しい位置に固定できない場合があります。



■ナビ本体の固定について

- ナビ本体の固定位置を調整し、
- ☐ ナビノーズとパネルのクリアランスが適正である事
 - ☐ ノーズ開閉時に上下が接触しない事を確認してください。



安全にお使いいただくために、必ずお守りください

- この取付説明書は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

■ 誤った使用をした場合に生じる危害・損害の程度の説明

 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■ お守りいただく内容の説明

 強制	必ず実行していただく強制の内容を示しています。	 注意	注意(警告を含む)しなければならない内容を示しています。
 禁止	禁止(してはいけないこと)を示しています。		

警告

 強制	DC12Vマイナスアース車専用です 24V車で使用しないでください。事故・火災・故障の原因になります。 取り付け・配線、取り付け場所の変更は、安全のため必ず販売店に依頼する 取り付け、配線や取り外しには、専門技術と経験が必要です。誤った取り付けや配線、取り外しをした場合、事故・火災・ケガ・故障の原因となります。また、お客様ご自身による取り付け・配線は、事故・火災・ケガ・故障の原因になります。 説明書に従って、取り付け・配線をする 作業は、手順通りに正しく行ってください。火災・事故の原因になります。 配線作業の前にはバッテリーのマイナス端子からアース線を外して、配線作業をする 感電・ケガの原因になります。 コード類は運転操作の妨げとならないように束ねる ハンドル・変速レバー・ブレーキペダルなどに巻き付くと、交通事故・故障の原因になります。 コードの被覆がない部分はテープなどで絶縁する ショートにより、火災や感電、故障の原因になります。 安全のため、パーキングブレーキ線を必ず接続する 交通事故の原因になります。パーキングブレーキ線の接続により、走行中はテレビ、ビデオの画像が表示されず、音声のみとなります。また、画面を注視する必要がある複雑な機能は操作できないようになっています。 ヒューズ交換は、規定容量(アンペア数)を守る 事故・火災・故障の原因になります。	 強制	電池・ネジなどの小物類は、幼児の手の届かないところに保管する 誤って飲み込み、事故・ケガの原因になります。飲み込んだ場合には、ただちに医師に相談してください。 フィルムアンテナは、保安基準の取付許容範囲に貼り付ける 視界不良による事故の原因になります。 取り付けと配線が終わったら、電装品が元通り正常に動作するか確認する 正常に動作しない状態で使用すると、火災や感電、交通事故の原因になります。 分解・改造をしない 特にコードの被覆を切って他の機器の電源を取るのは、絶対におやめください。事故・火災・感電の原因になります。 視界を妨げる場所、ハンドル・変速レバーなど運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には、取り付けない 事故・ケガの原因になります。 取り付け・アース接続には、ハンドル・ブレーキ・タンクなどのボルトやナットを使わない 制動不能・火災の原因になります。 助手席エアバッグの近くに取り付け・配線をしない エアバッグの動作を妨げ、死亡事故・ケガの原因になります。 車体に穴を開ける場合には、パイプ・タンク・電気配線などを傷つけない 事故・火災の原因になります。
		 禁止	
		 禁止	

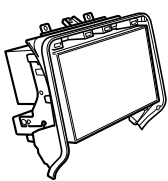
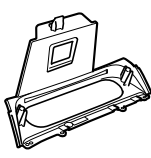
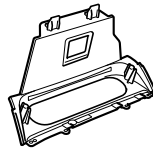
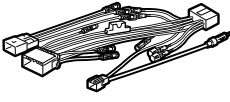
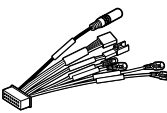
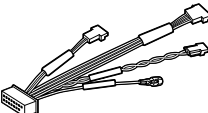
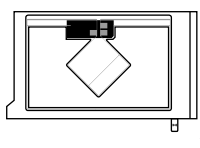
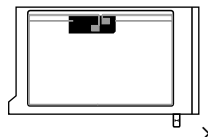
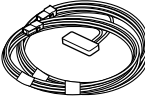
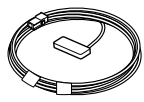
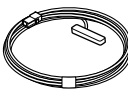
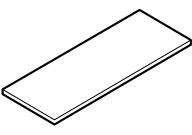
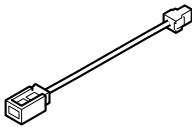
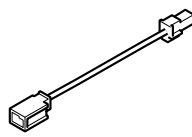
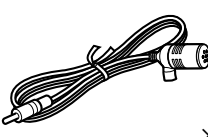
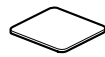
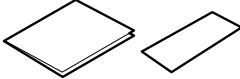
注意

 強制	車体のネジを使用して取り付けを行うときは、ネジが緩まないように確実に締め付ける ネジが緩み、事故・故障の原因になります。 コード類を車体やネジ部分、シートレールなどの可動部にはさんだり、突起部に当てないよう配線する 断線やショートにより、感電・火災の原因になります。 付属部品を指定通りに使い、確実に固定する 付属の部品以外の使用や指定用途以外の使用は、機器内部の部品を損傷したり、しっかりと固定できず外れたりして運転の妨げとなり、事故・故障の原因になります。	 禁止	コード類は絶対に途中で切断しない コード類にはヒューズがついている場合があるため、保護回路が動かなくなり、火災の原因になります。 コード類の配線は、車体の高温部に接触させない 火災や感電の原因になります。 水のかかるところ、湿気やホコリの多いところには取り付けない 火災・故障の原因になります。 通風孔・放熱板をふさがない 火災・故障の原因になります。
--	--	---	--

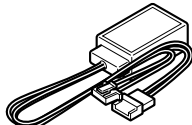
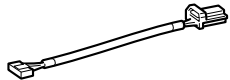
構成部品

※製品の仕様は、予告なく変更することがあります。

■ナビゲーションユニット (EX11NX)

ナビゲーション本体  ×1	専用パネル  ×1	エアコンパネル ※電動/パーキングブレーキ付車用  ×1	※電動/パーキングブレーキ無車用  ×1	トラスねじ(φ4×10)  ×4
バインドねじ(M2×6)  ×2	電源コード  ×1	リモートコード  ×1	USB接続ケーブル  ×1	カメラコード  ×1
GPS/テレビ用フィルムアンテナ  ×1	テレビ用フィルムアンテナ(A)  ×1	テレビ用フィルムアンテナ(B)  ×2	GPS/テレビ用アンテナコード (コード番号③)  ×1	テレビ用アンテナコード (コード番号②)  ×1
テレビ用アンテナコード (コード番号①/④)  各×1	クランプ  必要に応じてご使用ください ×6	クリーナー  ×1	クッションテープ(75mm×250mm)  ×2	アンテナ変換ケーブル(テレビ用)  ×4
アンテナ変換ケーブル(GPS用)  ×1	音声操作用/ハンズフリー電話用外部マイク  ×1	台座  ×1	両面テープ  ×1	説明書、保証書  各×1

■アラウンドビューカメラ映像変換キット

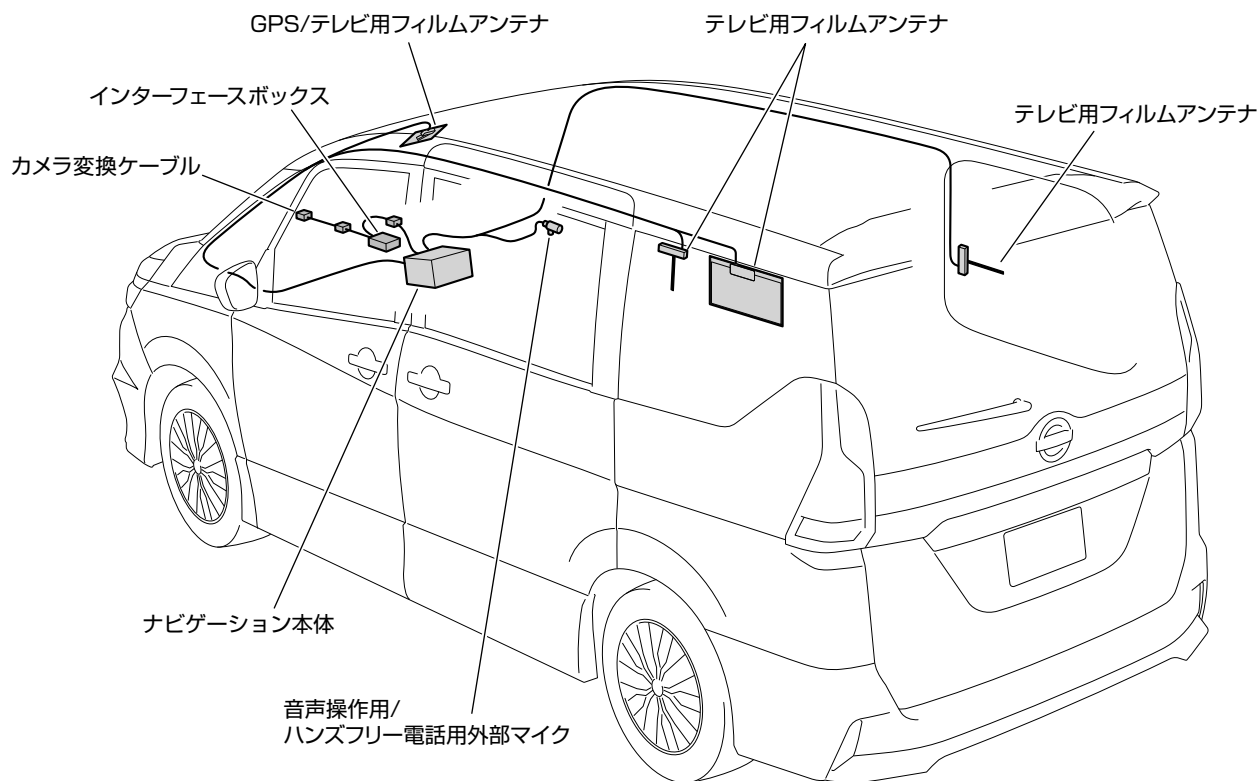
インターフェースボックス  ×1	カメラ変換ケーブル  ×1
---	--

必要工具

プラスドライバー、マイナスドライバー、クリップはずし、T20トルクスレンチ、10mm レンチ、マスキングテープ、プライヤー、カッターナイフ、ニッパー、保護メガネ、保護手袋（軍手など）

取付概要

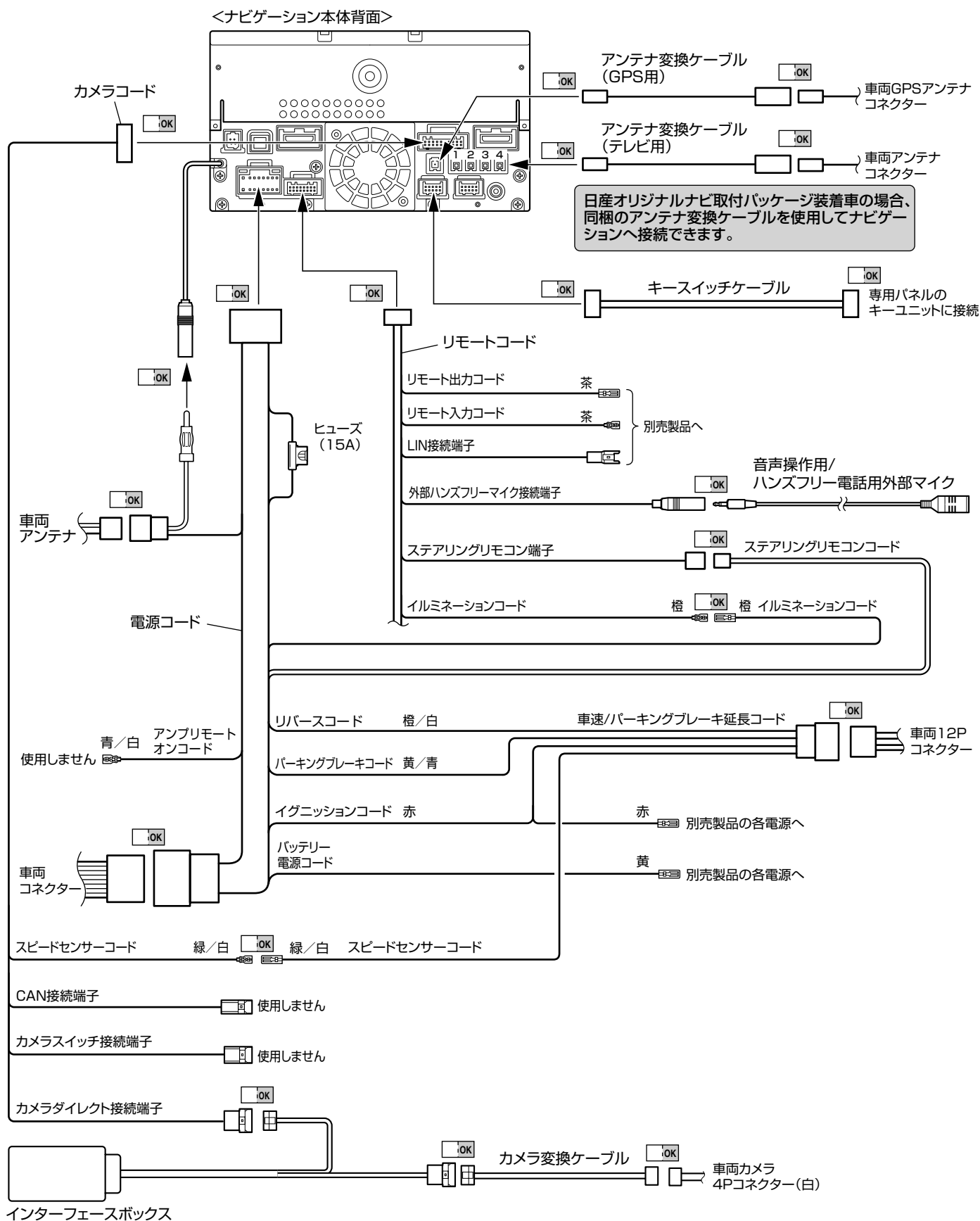
- ・日産オリジナルナビ取付パッケージ装着車の場合、車両 GPS/ テレビアンテナを同梱のアンテナ変換ケーブルを使用してナビゲーションへ接続できます。



※図は日産オリジナルナビ取付パッケージ未装着車の取付概要図になります。

2. 基本接続図

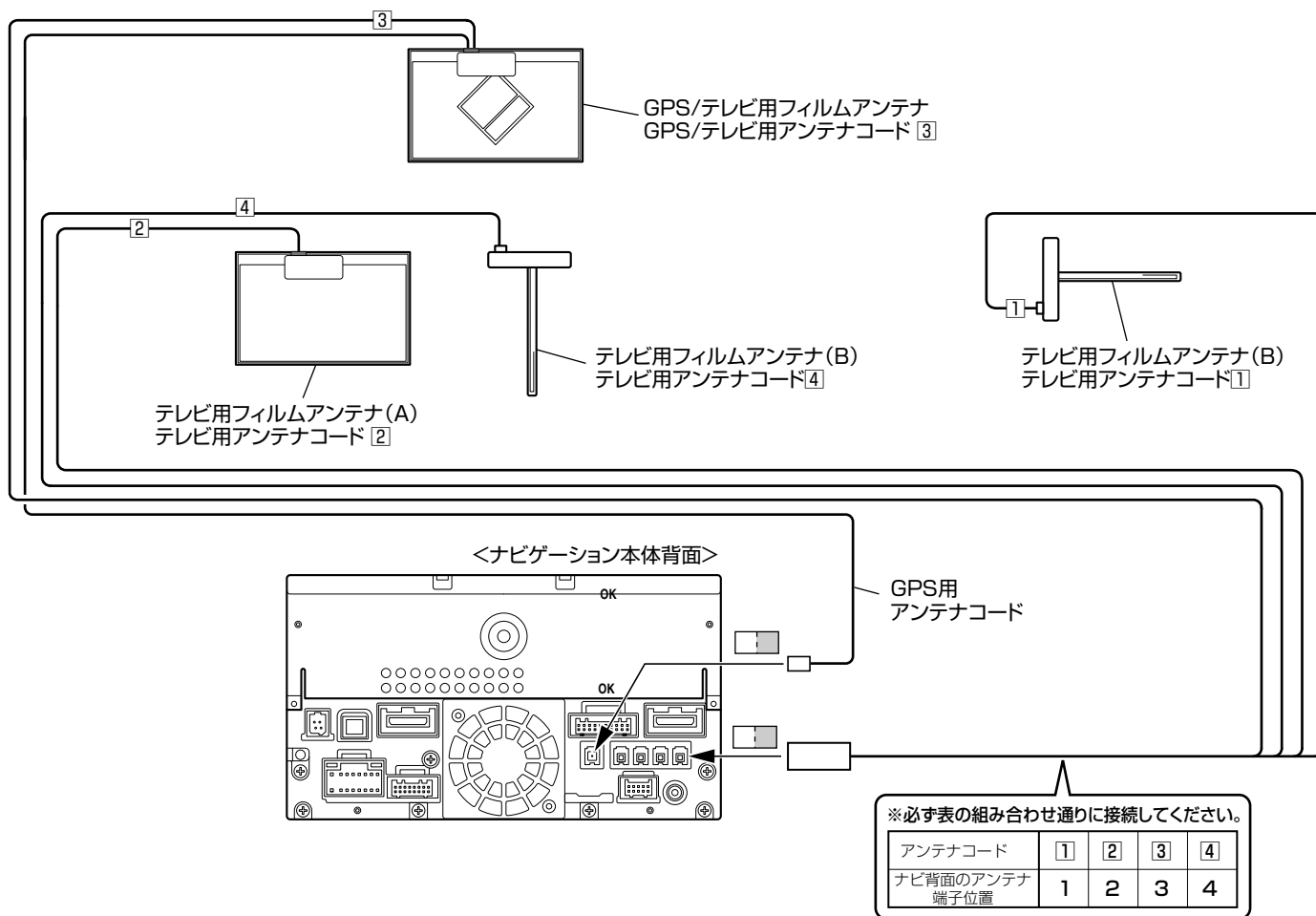
(誤接続を防ぐために、接続することに  に ✓ 点をつけてください)



※配線の仕様は予告なく変更することがあります。

■日産オリジナルナビ取付パッケージ無車の場合

(誤接続を防ぐために、接続するごとに **OK** に ✓ 点をつけてください)

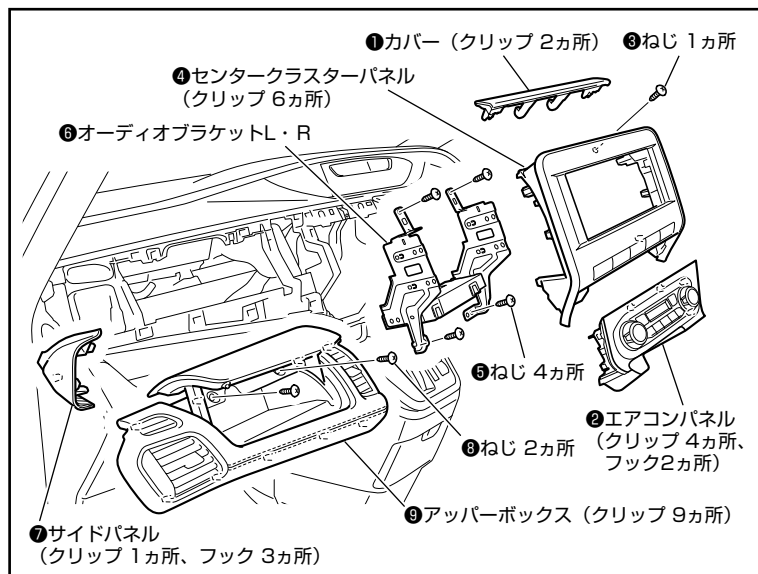


※配線の仕様は予告なく変更することがあります。

3. 取付要領

※作業を始める前にバッテリーのマイナス側ケーブルを外してください。

1. 車両部品の取り外し



■インパネ周り

1. 左図を参照して内装部品を外します。番号順に取り外してください。

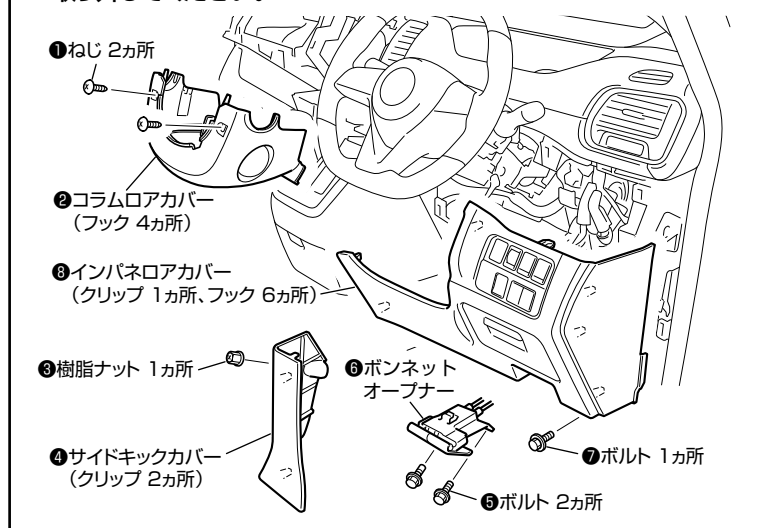


注意 ●キズ防止のため、要所をマスキングテープなどで保護してください。
●ねじなどの紛失にご注意ください。



Memo 各ガーニッシュ取り外しには、クリップはずしを使用します。

※インテリジェントアラウンドビュー未装着車のみ、以下の部品を取り外してください。



■運転席周り

1. 左図を参照して内装部品を外します。番号順に取り外してください。

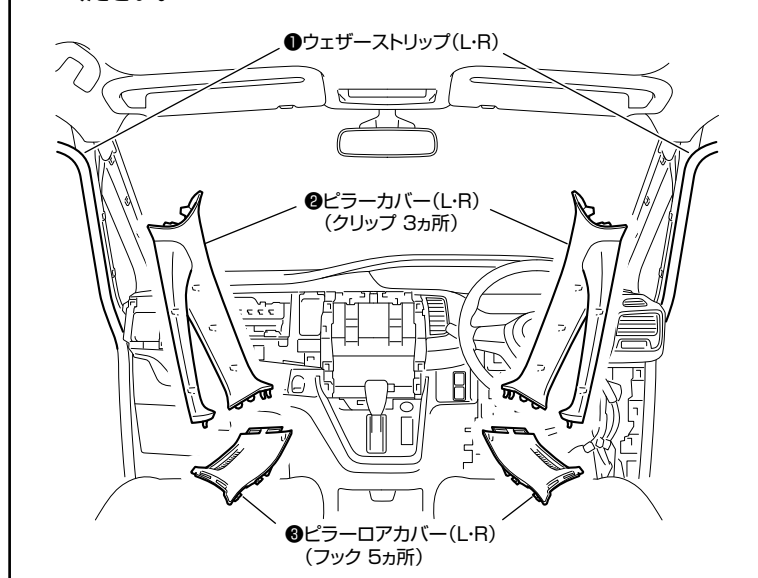


注意 ●キズ防止のため、要所をマスキングテープなどで保護してください。
●ねじなどの紛失にご注意ください。



Memo 各ガーニッシュ取り外しには、クリップはずしを使用します。

※フィルムアンテナを取り付ける場合のみ、以下の部品も取り外してください。



■ピラー周り

1. 左図を参照して内装部品を外します。番号順に取り外してください。

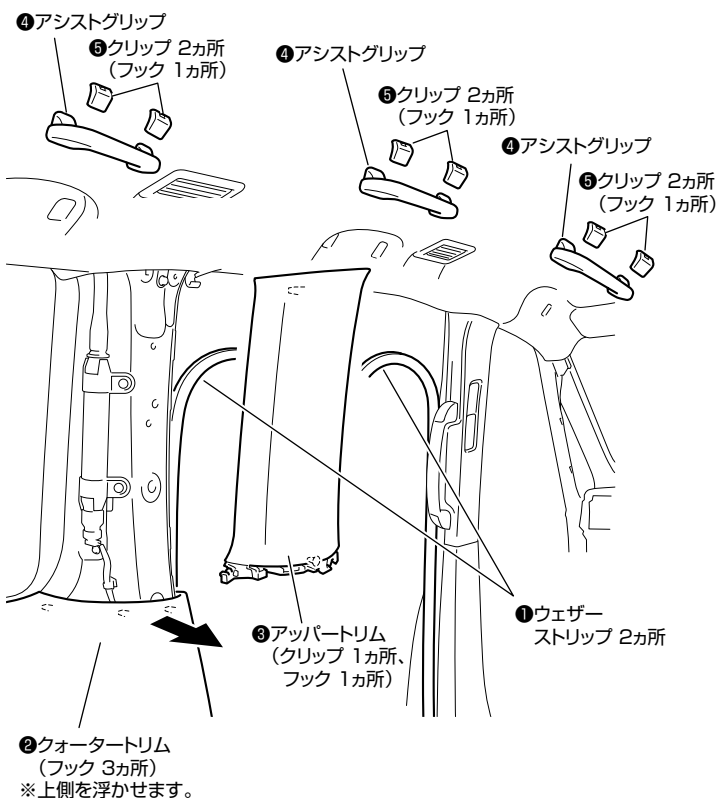


注意 キズ防止のため、要所をマスキングテープなどで保護してください。



Memo 各ガーニッシュ取り外しには、クリップはずしを使用します。

※フィルムアンテナを取り付ける場合のみ、以下の部品も取り外してください。



※イラストは左側ですが、右側も同様に取り外してください。

■ピラー周り

1. 左図を参照して内装部品を外します。番号順に取り外してください。（イラストは左側ですが、右側も同様に取り外してください。）

●キズ防止のため、要所をマスキングテープなどで保護してください。

●Bピラーアッパーパネルは再使用不可部品です。Bピラーアッパーパネルを取り外した場合は、必ず新品を別途買い求めのうえ、交換してください。

<カーテンエアバッグ無車>

・純正部品番号:B8088-5TA00(別売)

・純正部品番号:B8088-5TA01(別売)

<カーテンエアバッグ付車>

・純正部品番号:B8088-5TA10(別売)

・純正部品番号:B8088-5TA11(別売)

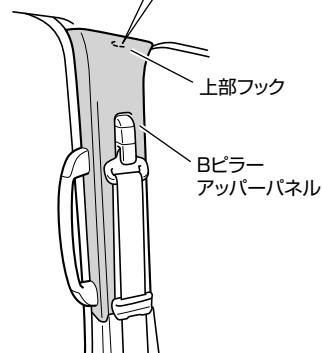
<Bピラーアッパーパネルの取り外し方>

Bピラーアッパーパネル裏側

上部フックのツメ(両側)を
矢印方向に押して取り外します。



⚠ 注意

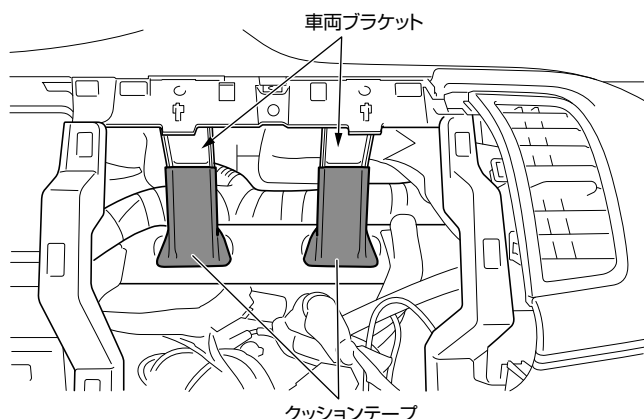


Memo

各ガーニッシュ取り外しには、クリップはずしを使用します。

2. 作業前の準備

<オーディオ取付部>



■車両ブラケットの保護

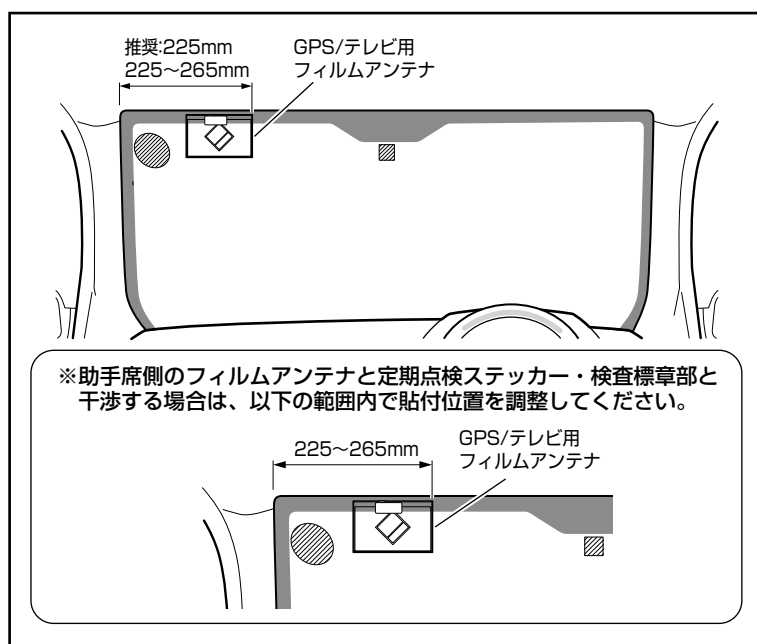
1. 左図の車両ブラケットにクッションテープを巻いて保護します。



Memo

クッションテープは必要な長さにカットして使用してください。

3. フィルムアンテナの取り付け(日産オリジナルナビ取付パッケージ未装着車のみ)

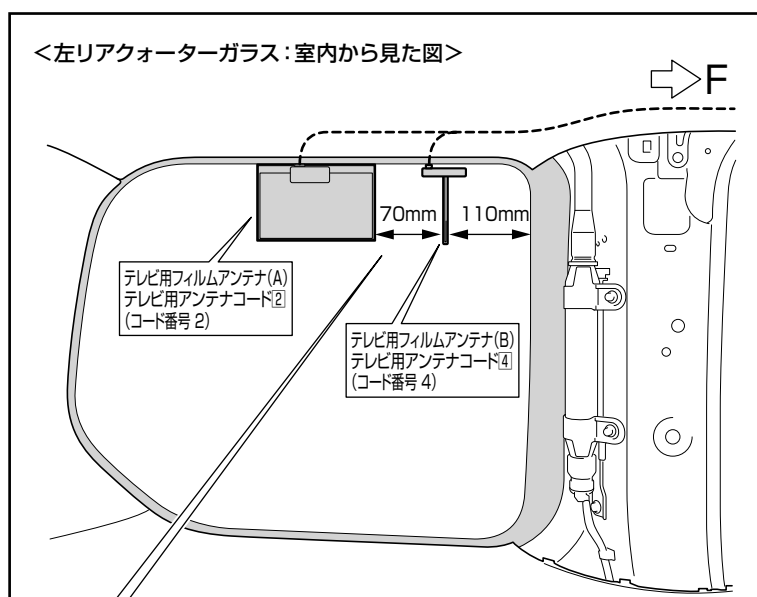


■フィルムアンテナの取り付け

1. GPS/テレビ用フィルムアンテナをフロントウィンドウの室内側に貼り付けます。
貼付方法の詳細は、18、19ページ「フィルムアンテナの貼付方法」を参照してください。



- 注意**
- クリーナーを使用して貼付面の汚れ、油分、ゴミなどを完全に除去してから貼り付けてください。
 - 図の斜線部分の定期点検ステッカー・検査標章部には貼り付けないでください。
 - フィルムアンテナは、必ず指定の場所に貼り付けてください。



2. テレビ用フィルムアンテナをリアクォーターガラスの室内側に貼り付けます。
貼付方法の詳細は、18、19ページ「フィルムアンテナの貼付方法」を参照してください。



- 注意**
- クリーナーを使用して貼付面の汚れ、油分、ゴミなどを完全に除去してから貼り付けてください。
 - フィルムアンテナは、必ず指定の場所に貼り付けてください。

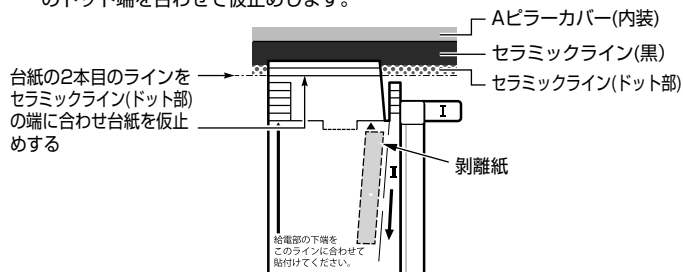
3. 接続図を参照して各アンテナコードの給電端子を取り付けます。



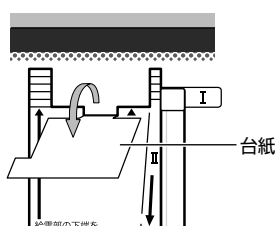
- 注意**
- 地デジ受信性能をより向上させるために、必ず決められた位置に取り付けてください。
 - アッパートリム復元時にコードがか見込まない位置に配線してください。

※以下の手順で貼り付けてください。

- 1) 台紙の文字面裏の剥離紙をはがし、位置決めラインとセラミックラインのドット端を合わせて仮止めします。



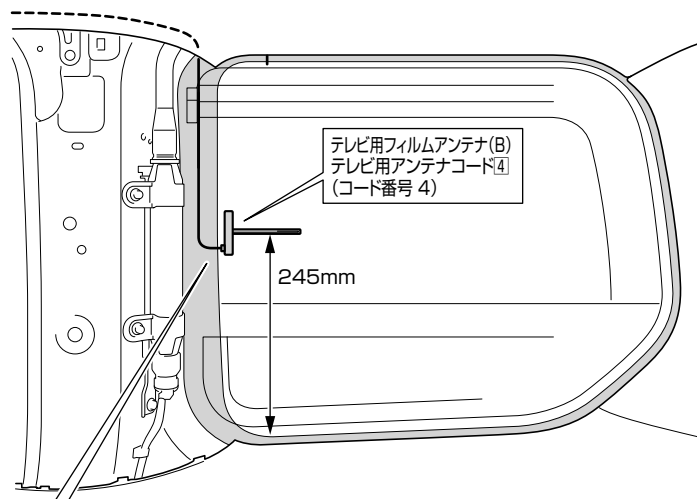
- 2) 台紙の左側を下図のように手前に折り曲げます。



以降の作業は巻末のフィルムアンテナの取り付け方法を参照してください。

<右リアクォーターガラス：室内から見た図>

F ←



※以下の手順で貼り付けてください。

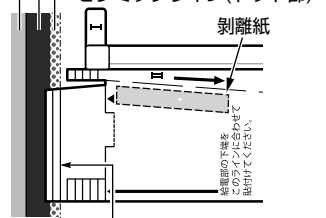
- 1) 台紙の文字面裏の剥離紙をはがし、位置決めラインとセラミックラインのドット端を合わせて仮止めします。
- 2) 台紙の左側を下図のように手前に折り曲げます。

Aピラーカバー(内装)

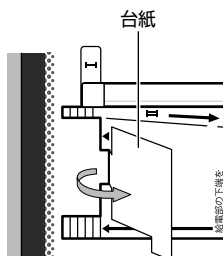
セラミックライン(黒)

セラミックライン(ドット部)

剥離紙



給電部の下端を
このラインに合わせて
折り付けてください。



給電部の下端を

台紙の2本目のラインをセラミックライン
(ドット部)の端に合わせ台紙を仮止めする。

以降の作業は巻末のフィルムアンテナの取り付け方法を参照してください。

4. テレビ用フィルムアンテナをリアクォーターガラスの室内側に貼り付けます。

貼付方法の詳細は、18、19ページ「フィルムアンテナの貼付方法」を参照してください。

⚠ 注意

- クリーナーを使用して貼付面の汚れ、油分、ゴミなどを完全に除去してから貼り付けてください。
- フィルムアンテナは、必ず指定の場所に貼り付けてください。

5. 接続図を参照して各アンテナコードの給電端子を取り付けます。

⚠ 注意

- 地デジ受信性能をより向上させるために、必ず決められた位置に取り付けてください。
- アッパートリム復元時にコードがか見込まない位置に配線してください。

6. アンテナコードを左図の位置に通してオーディオ取付部まで配線します。

⚠ 注意

- カーテンエアバッグに干渉しないように配線してください。
- ルーフライニングにしわが出来ないように注意してください。



Memo

配線通しや針金などを使用して、アンテナコードをAピラーまで配線してください。

7. アンテナコードを左図の位置に通してオーディオ取付部まで配線します。

⚠ 注意

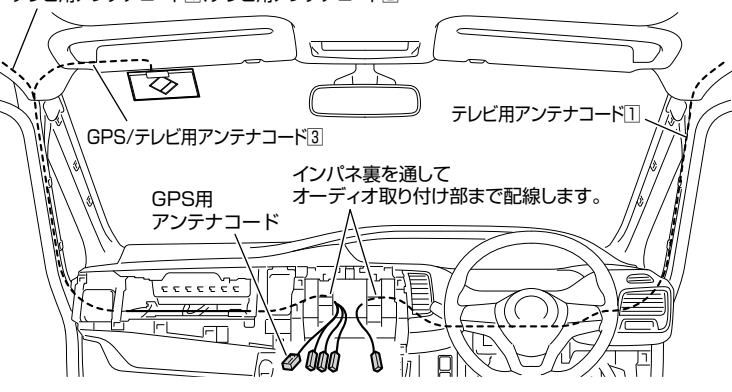
カーテンエアバッグに干渉しないように配線してください。



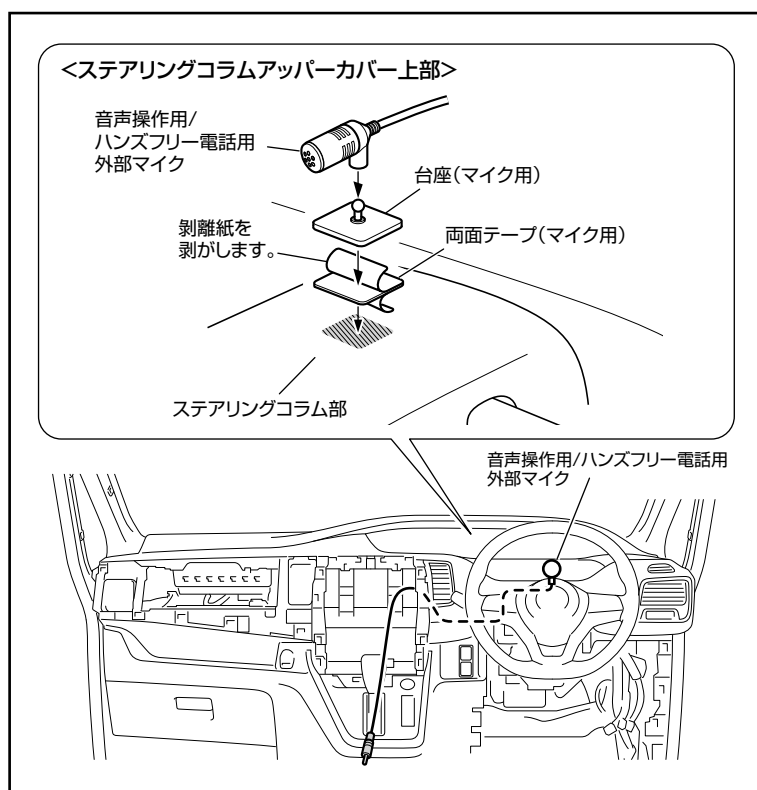
Memo

- 配線作業時は給電端子に負担を掛けないでください。給電端子をささえながらコードの配線を行ってください。
- 同じ位置に配線するユニットをすべて取り付けてから、配線を固定してください。
- アンテナの配線余長を束ねる場合は、ナビゲーション裏を避けて束ねてください。

テレビ用アンテナコード④、テレビ用アンテナコード②



4. 音声操作/ハンズフリー電話用外部マイクの取り付け



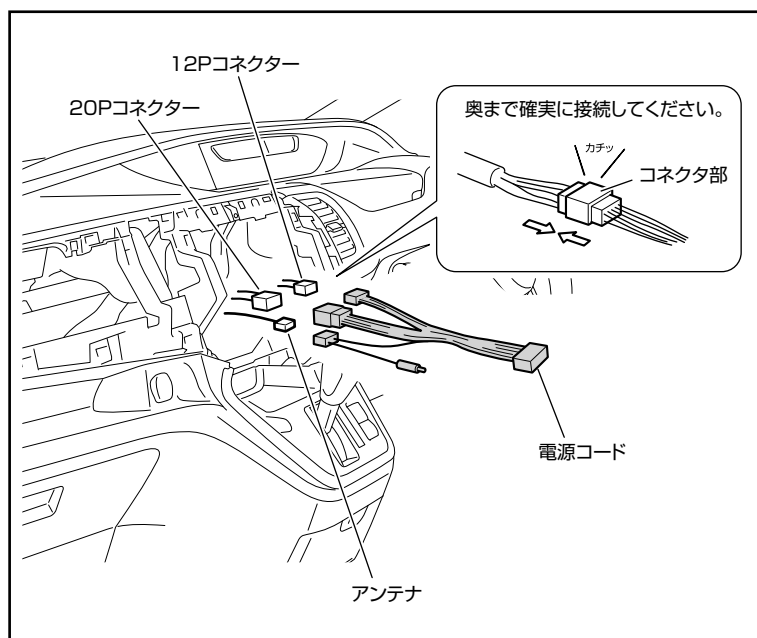
■音声操作/ハンズフリー電話用外部マイクの取り付け

1. ステアリングコラムの上側に音声操作/ハンズフリー電話用外部マイクを取り付けます。

⚠ 注意

- ステアリングの調整機構(チルト・テレスコピック)に影響の無い位置に取り付けてください。
- 音声操作/ハンズフリー電話用外部マイクのコードは、ハンドル操作やブレーキ操作、視界など運転操作の妨げにならないように配線してください。
- 音声操作/ハンズフリー電話用外部マイクは、ドライバーの声が拾いやすい場所に取り付けてください。発話するときに、姿勢が変わる様なことがあると、走行中の安全に支障をきたします。ドライバーの声が拾いやすい様に、マイクの向きや距離を考慮してから取り付けてください。
- 音声操作/ハンズフリー電話用外部マイクを取り付けないと、ハンズフリー及び音声認識機能が使えません。

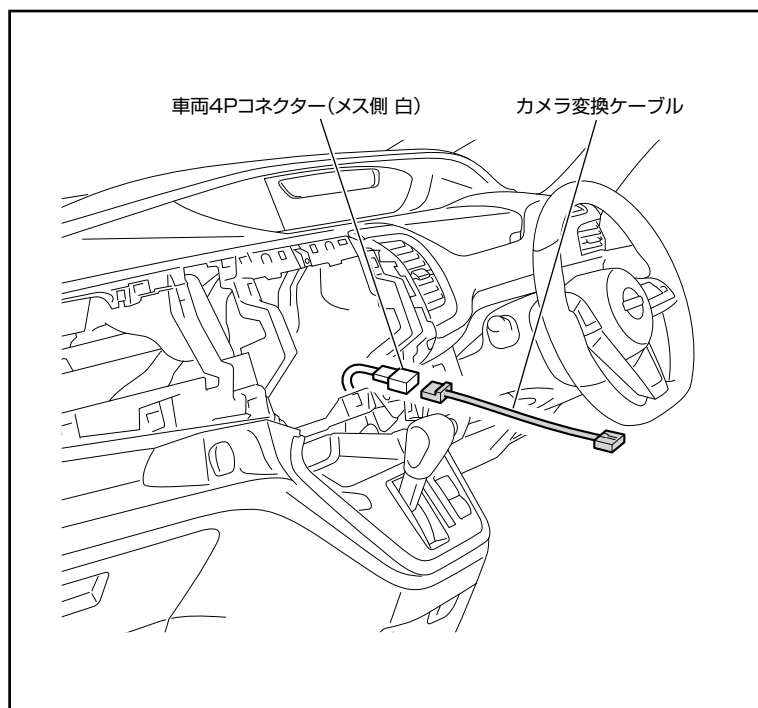
5. 各コードの接続



■電源コードの接続

1. オーディオ取付部にある20Pコネクター、12Pコネクター、アンテナに電源コードを接続します。

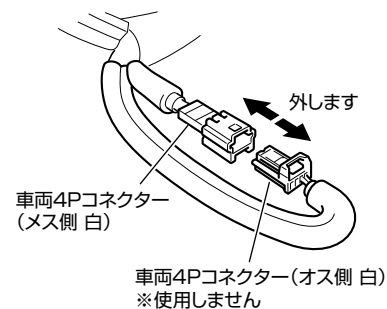
6. アラウンドビューカメラ映像変換キットの取り付け



■カメラ変換ケーブルの接続

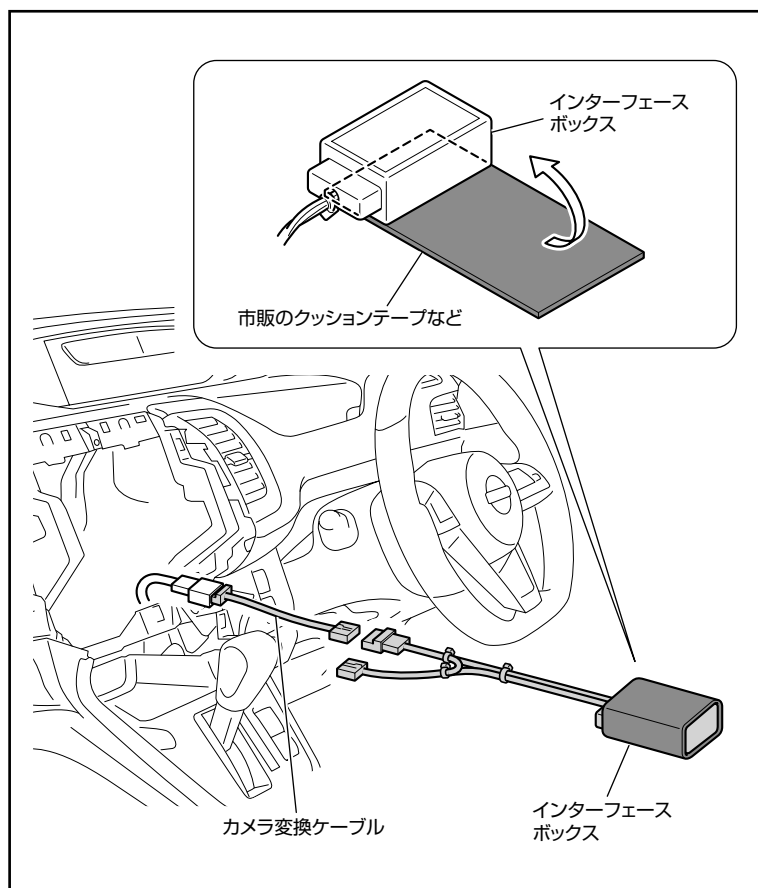
1. オーディオ取付部奥の車両4Pコネクタ(メス側 白)から車両4Pコネクタ(オス側 白)を取り外します。

<オーディオ取付部奥>



※テープ止めされている場合があります。

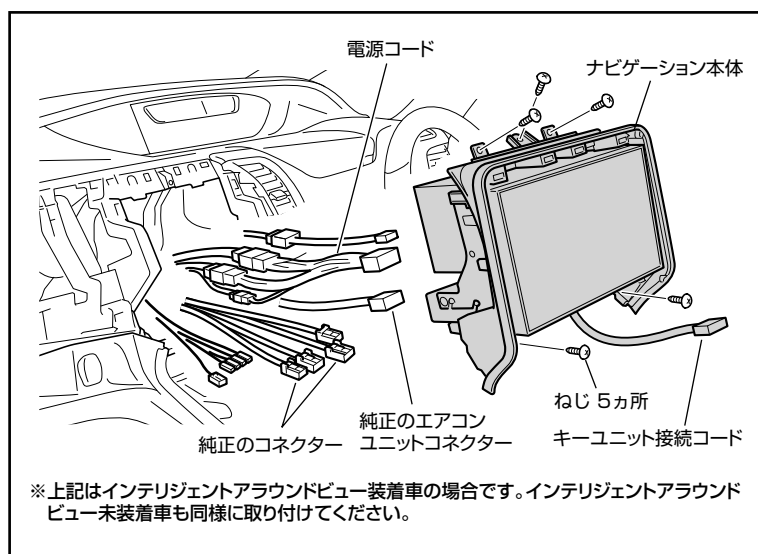
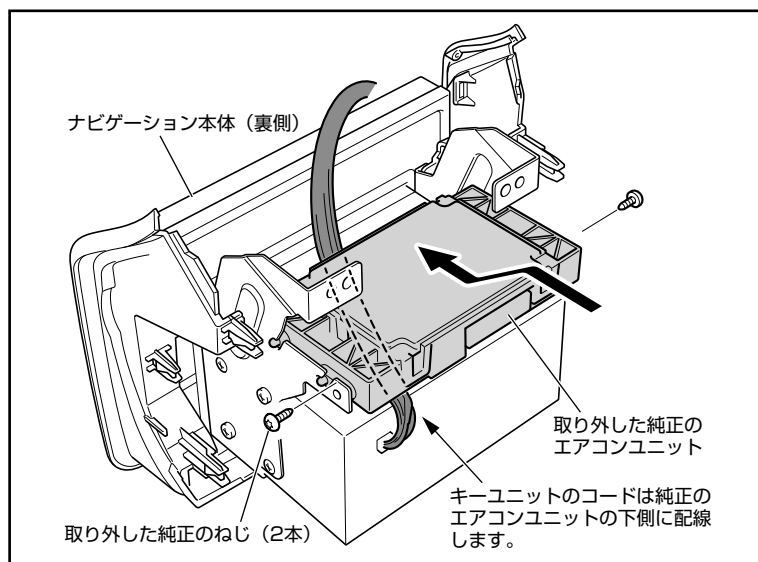
2. 車両4Pコネクタ(メス側 白)にカメラ変換ケーブルを接続します。



■インターフェースボックスの取り付け

1. 市販のクッションテープなどをインターフェースボックスに巻きます。
2. 接続図を参照し、カメラ変換ケーブルにインターフェースボックスのケーブルを接続します
3. インターフェースボックスをオーディオ取付部の車両ハーネスに市販のタイラップなどで固定します。

7. ナビゲーションユニットの取り付け



■エアコンユニットの取り付け

1. 純正のオーディオブラケットから純正のエアコンユニットと純正のねじを取り外します。



- キズ防止のため、要所をマスキングテープなどで保護してください。
- ねじは再使用しますので紛失にご注意ください。

2. ナビゲーション本体のブラケットにエアコンユニットを純正のねじで取り付けます。



- キズ防止のため、要所をマスキングテープなどで保護してください。
- コード類を挟み込まないようにしてください。

■ナビゲーション本体の取り付け

1. 接続図を参照して配線を接続します。

※車両テレビアンテナの接続位置指定はありません。
※フィルムアンテナを接続する場合は9、10ページと下記を参照して接続してください。

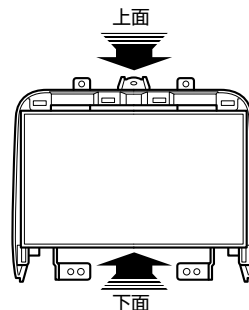


「バックグラウンドサーチ」機能が正常に働くように、ナビゲーションのアンテナ端子は必ず下記の組み合わせ通りに接続してください。

アンテナコード	1	2	3	4
ナビ背面のアンテナ端子位置	1	2	3	4

2. ナビゲーション本体をオーディオ取付スペースに取り付けます。

- ナビゲーション本体の上面と下面を持って取り付けてください。



※パネルだけを持たないようにしてください。

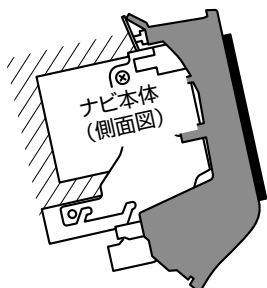
- コード類を挟み込まないようにしてください。
- 使用しないコードは市販のタイラップなどで束ねて、オーディオ取付部奥に収納してください。



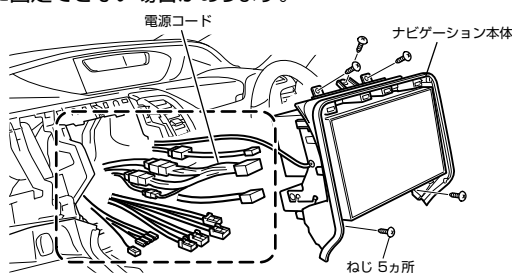
注意 ナビ本体取り付け時に以下の点に注意してください。

■配線の挟み込み/配線の処理について

- ナビ本体の上側/背面/下側（斜線エリア）に配線を挟み込まないように注意してください。

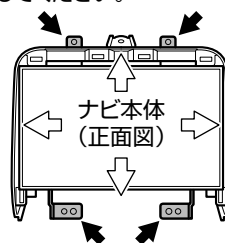


- ナビ本体を固定する際、無理に押し込まずに固定してください。
※ナビ本体裏側の配線は必要以上にまとめずに分散して取り付けください。ビニールテープ等でまとめ過ぎるとナビ本体が正しい位置に固定できない場合があります。

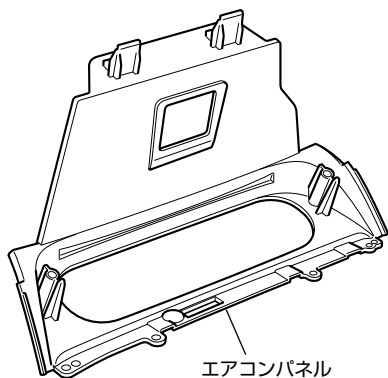


■ナビ本体の固定について

- ナビ本体の固定位置を調整し、
☐ ナビノーズとパネルのクリアランスが適正である事
☐ ノーズ開閉時に上下が接触しない事を確認してください。

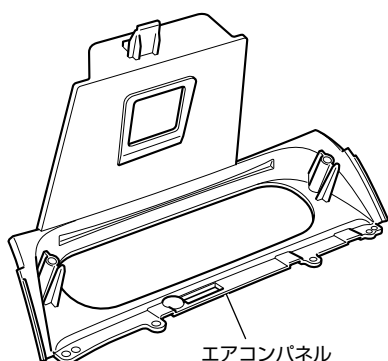


<電動パーキングブレーキ無車>



エアコンパネル

<電動パーキングブレーキ付車>



エアコンパネル

■エアコンパネルの取り付け

1. 取り付けるエアコンパネルを確認します。



注意

エアコンパネルは車両の装備によって異なりますので、間違えないように取り付けてください。

※イラストの説明は電動パーキングブレーキ無車ですが、電動パーキングブレーキ付車も同様にに取り付けてください。

2. 専用パネルのフレーム部を外側に広げ、エアコンパネルのリブをフレームのガイドに差し込みます。



注意

●キズ防止のため、要所をマスキングテープなどで保護してください。
●専用パネルを破損させないように注意してください。

上側

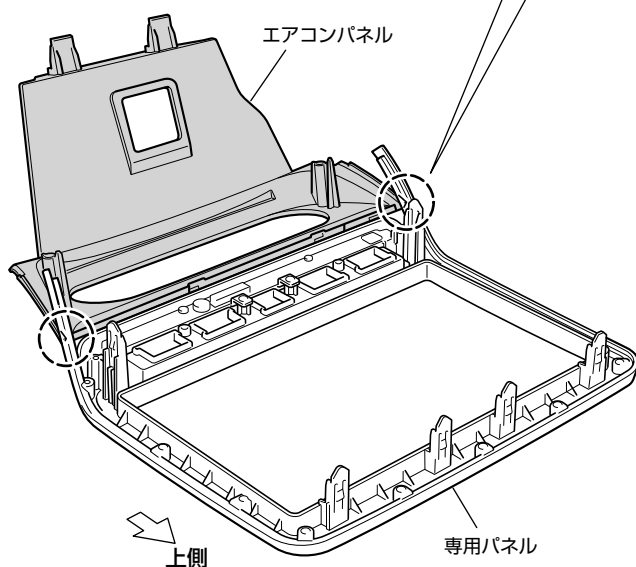
専用パネルのフレームを外側へ広げます。

<断面図>

フレームのガイド
リブ

エアコンパネルのリブを差し込みます。

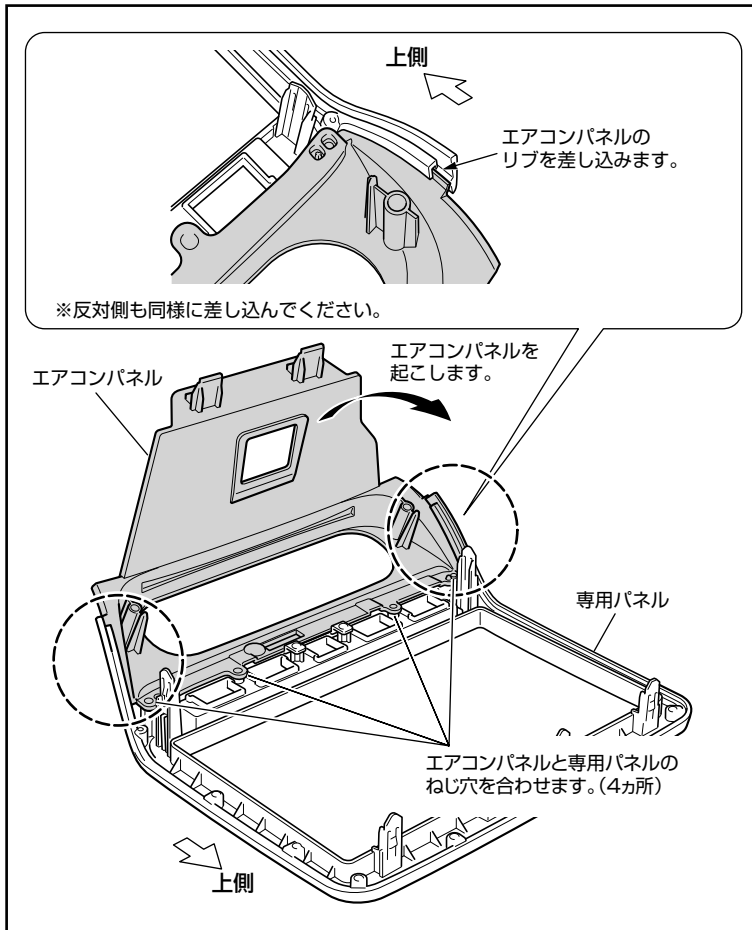
※反対側も同様に差し込んでください。



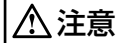
エアコンパネル

専用パネル

上側

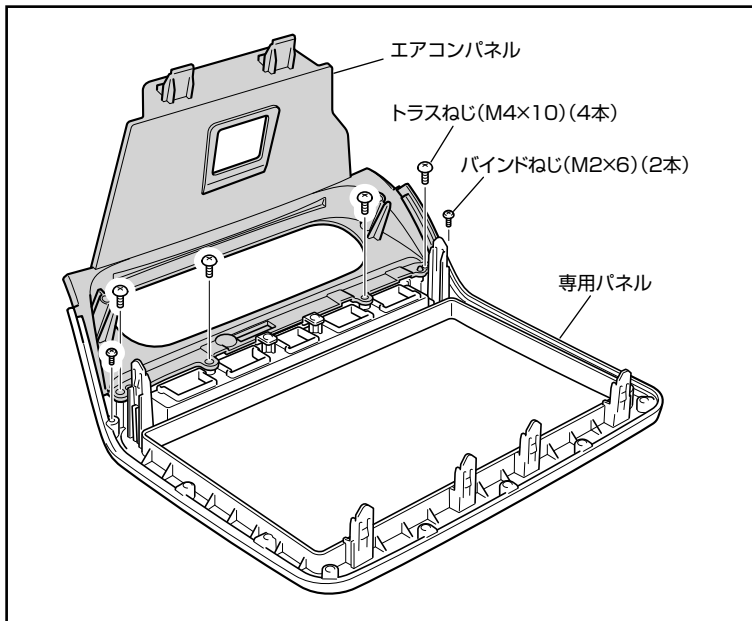


3. エアコンパネルを起こし、エアコンパネルのリップをフレームのガイドに取り付けます。



注意

- キズ防止のため、要所をマスキングテープなどで保護してください。
- 専用パネルを破損させないように注意してください。



4. エアコンパネルをトラスねじ (M4×10)、バインドねじ (M2×6) で専用パネルに固定します。

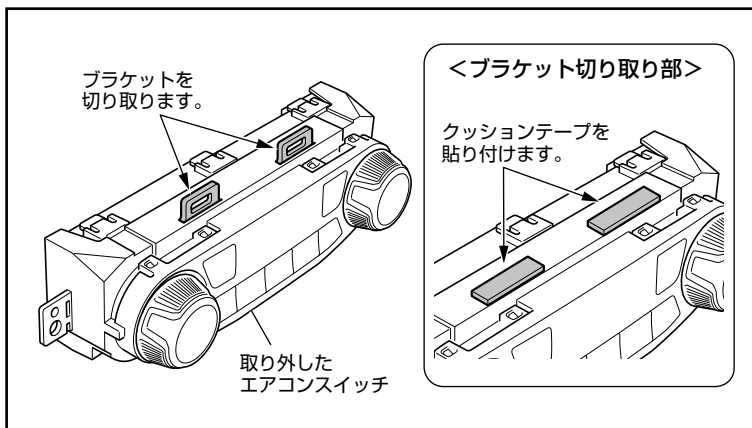


注意

- キズ防止のため、要所をマスキングテープなどで保護してください。

■エアコンスイッチの取り付け

1. 純正のエアコンパネルからエアコンスイッチを取り外します。
2. 取り外したエアコンスイッチのブラケットを切り取り、クッションテープを貼り付けます。



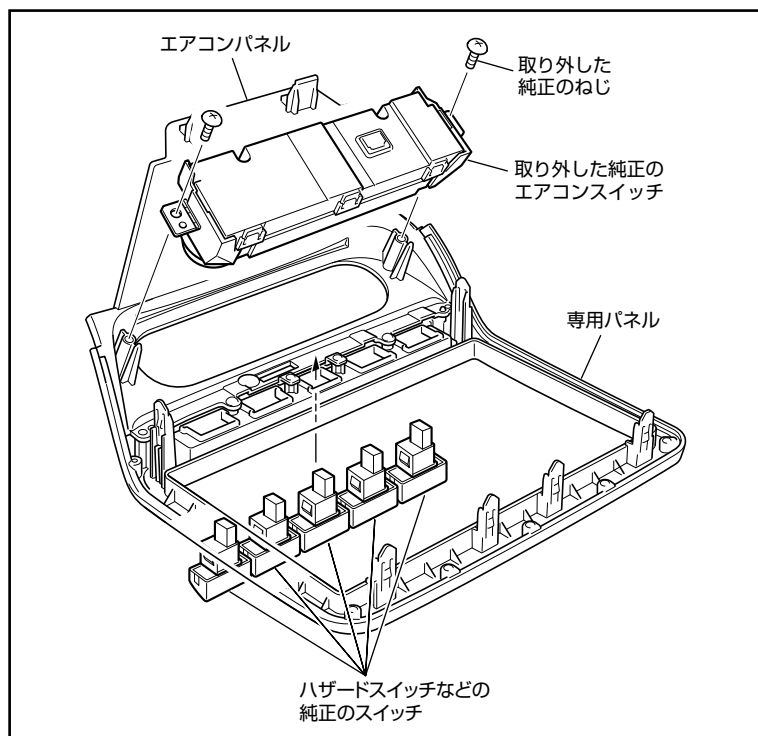
注意

- 保護メガネ（ゴーグルなど）・保護手袋（軍手など）を着用し、刃物の取扱いに注意してください。
- キズ防止のため、要所をマスキングテープなどで保護してください。
- バリが残らないようにしっかりカットしてください。



Memo

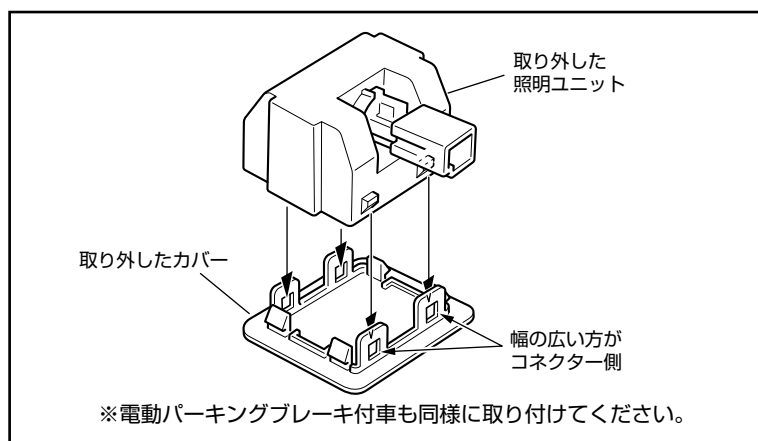
- クッションテープは必要な長さにカットして使用してください。



3. エアコンスイッチを専用パネルに純正のねじで取り付けます。
4. 純正のクラスターパネルからハザードスイッチなどのスイッチを取り外します。
5. 専用パネルにハザードスイッチなどの取り外したスイッチを取り付けます。



注意 スイッチ類は車両の装備によって異なりますので、純正のクラスターパネルと同じ位置に取り付けてください。

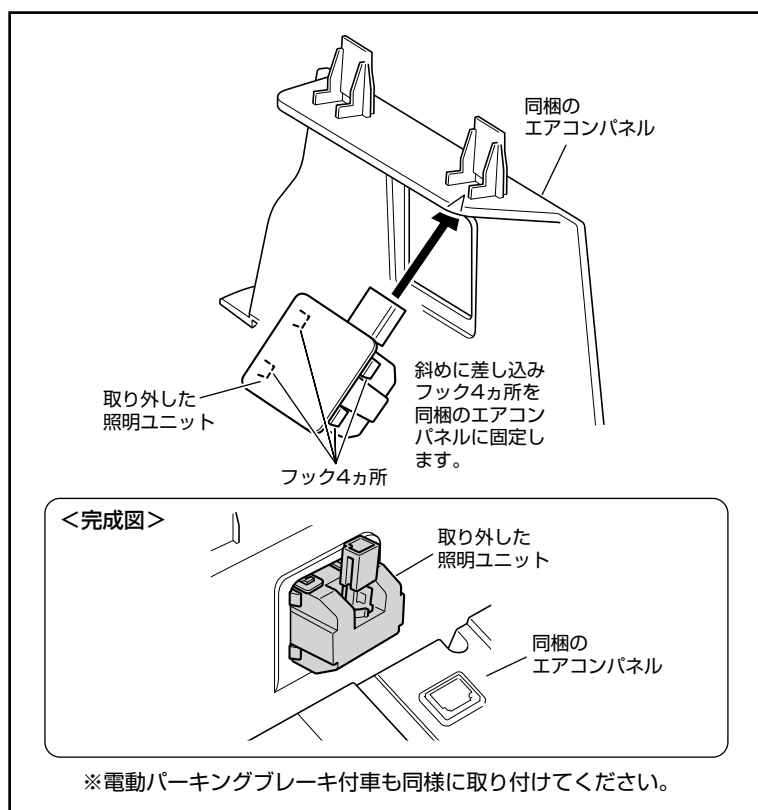


■照明ユニットの取り付け

1. 純正のアンダーパネルから照明ユニットとカバーを取り外します。
2. カバーを照明ユニットに取り付けます。



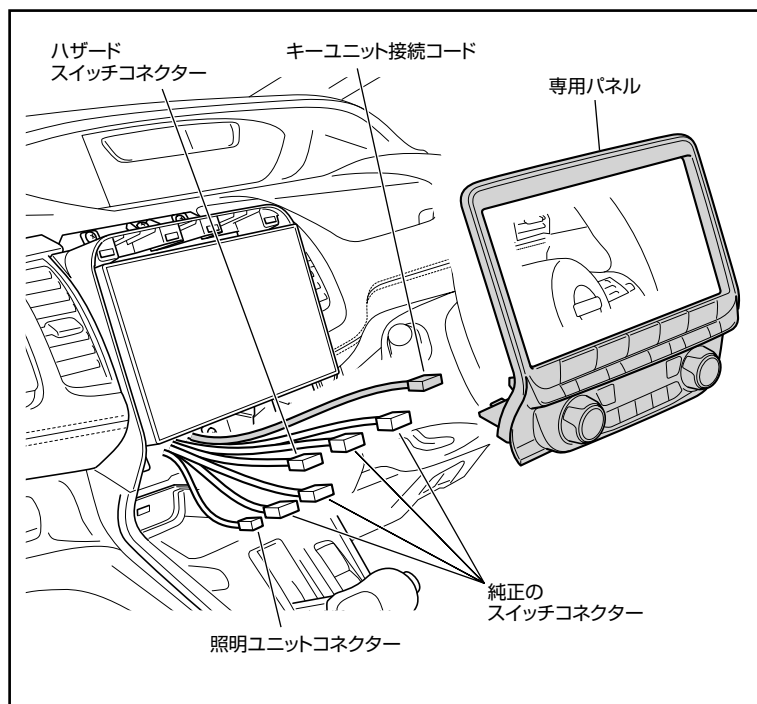
注意 カバーの向きに注意して取り付けてください。



3. 組み立てた照明ユニットを同梱のエアコンパネルに取り付けます。



注意 照明ユニットに向きに注意して取り付けてください。



■専用パネルの取り付け

1. アッパーボックスを復元します。
2. 純正のスイッチコネクタを専用パネルのスイッチに取り付けます。
3. 各コードを接続し、専用パネルを取り付けます。



注意

クラスターパネルのクリップなどでナビゲーションの画面にキズが付かないように注意してください。

取り付けが終わったら、23 ページ以降を参照してクイックセットアップ、接続確認を行ってください。

※本製品は車種専用以下設定をチューニング済みとなっております。
組み合わせるオプション製品（カメラなど）によって設定を変更する場合は 25 ページの手順にて設定を行ってください。

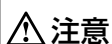
【チューニング済みの項目】

- ・車種専用オープニング画面
- ・車種専用サウンド（音響空間の設定）
- ・カメラガイド線
- ・車両情報（車種・サイズ）等

8. 車両部品の復元/動作確認

■車両部品の復元

1. 取り外した車両部品を元通りに復元します。



注意

ケーブル類を挟み込まないようにしてください。

■動作確認

1. 電源が入ることを確認します。



注意

バッテリーのマイナス端子を接続する際にステアリングが0時の位置に合っていることを必ずご確認ください。

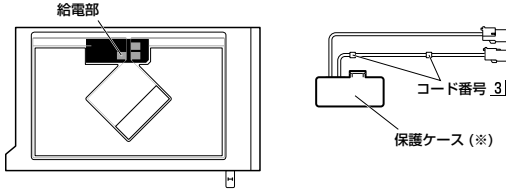
2. 「5. 接続状態を知る」を参照し、接続状況を確認します。

フィルムアンテナの取り付け方法

フィルムアンテナの貼り付け面とアンテナコード番号を確認する

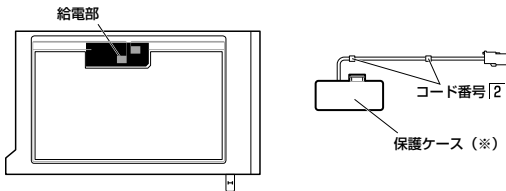
■GPS/テレビ用フィルムアンテナとコード

給電部が見える面が車内側です。



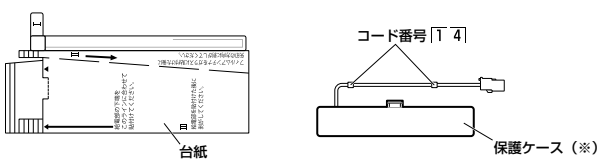
■テレビ用フィルムアンテナ(A)とコード

給電部が見える面が車内側です。

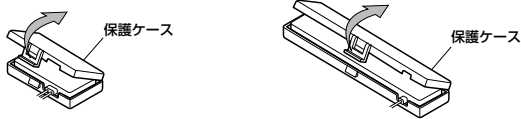


■テレビ用フィルムアンテナ(B)とコード

台紙に文字が印刷されている面が車内側です。



※ アンテナアンプは給電端子を保護するためケースに入っています。アンテナアンプの取り付け位置を確認する際や、実際にフィルムアンテナに取り付けを行う時以外はケースから取り出さずに作業を行ってください。



＜フィルムアンテナの取り扱いについての注意＞

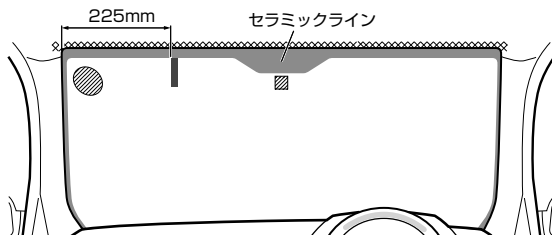
- 透明フィルムや保護フィルムをはがすときはフィルムアンテナを強く曲げないでください。アンテナが断線する恐れがあります。
- 透明フィルムや保護フィルムは急にはがさないでください。アンテナが断線する恐れがあります。
- 透明フィルムや保護フィルムをはがした後は、アンテナに直接触れたり、物を当てたりしないでください。皮脂や埃がつくとアンテナが貼りつかなくなります。

注意 ● 必ず車両側の内装部品(内張りやAピラーカバーなど)とアンプが干渉しない位置を確認してからフィルムアンテナの取り付けを行ってください。

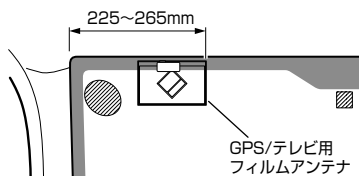
1 フィルムアンテナの取り付け位置を決める

下図を参考に、セロハンテープなどで車外から位置決めテープを貼り付けてください。

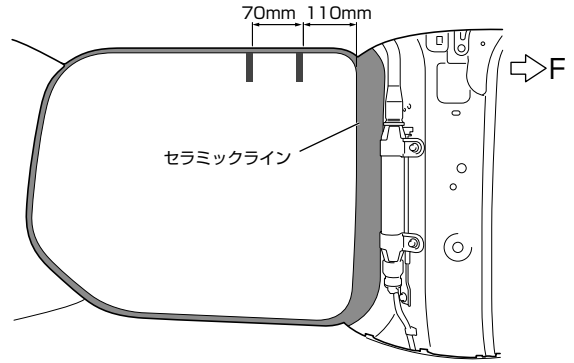
■フロントウィンドウ



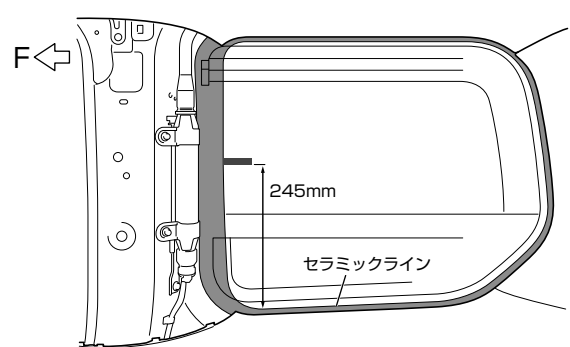
※助手席側のフィルムアンテナと定期点検ステッカー・検査標章部と干渉する場合は、以下の範囲内で貼付位置を調整してください。



■左リアクォーターガラス



■右リアクォーターガラス



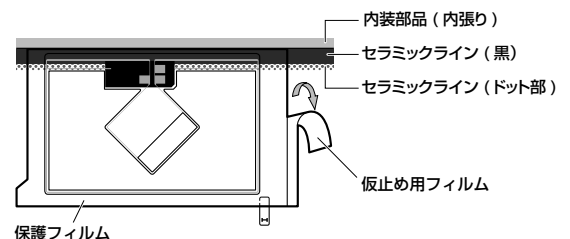
2 フィルムアンテナを取り付ける

- フロントウィンドウの汚れ(ごみ・油等)やくもり止めを付属のクリーナーを使ってきれいに拭きとってください。油膜や糸くずが残っていると気泡発生の原因になります。
- 水または界面活性剤入りのクリーナーは使用しないでください。
- フロントウィンドウは、完全に乾いた状態にしてから作業を行ってください。
- 冬場での貼り付けの場合は、霜取りやウィンドウ面を暖めてから作業を行ってください。その際は、フィルムアンテナ自体も暖めてください。

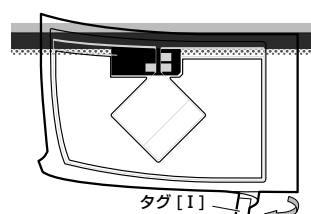
— GPS/テレビ用フィルムアンテナ・テレビ用フィルムアンテナ(A)を取り付ける —

- イラストはGPS/テレビ用フィルムアンテナですが、テレビ用フィルムアンテナ(A)も同様の手順で取り付けてください。

- 1) 仮止め用フィルムをはがし、保護フィルム上部を内装部品(内張り)の端に合わせ仮止めする。

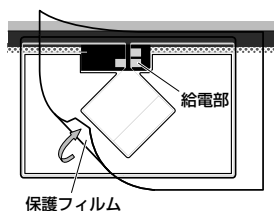


- 2) タグ[I]の透明フィルムをゆっくりはがして、フィルムアンテナをしっかりとガラスに密着させる。



- フィルムの上からアンテナ線を中心に指で強く押す(困難な場合は、樹脂ヘラを使用)。
- 給電部は、気泡が残らないように強めに押しつけてください。
- 気泡が入ったり、しわが寄ったりしないように端から貼り付けてください。
- 一度アンテナがフロントウィンドウに貼り付くと、貼り直しができないので注意してください。

- 3) フィルムアンテナがフロントウィンドウに定着していることを確認しながら、保護フィルムを左端からゆっくりとはがす。

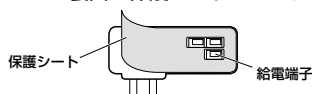


- ※ 保護フィルムと一緒にアンテナがはがれる場合は、保護フィルムを一度もとに戻しアンテナ線を中心に強く押して定着させてから再度はがしてください。
- ※ アンテナを柔らかい布等で上から押さえつける。
 - アンテナの上から丁寧に押さえつけてください。
 - 給電部には、直接手で触れないでください。皮脂等の汚れが付着すると給電部が錆びて本来の性能が発揮できなくなります。

4) コードを配線する。

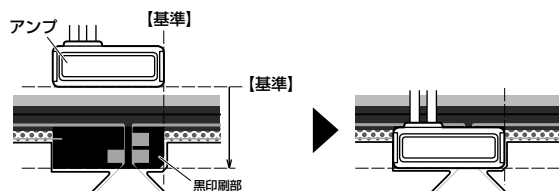
- 実際に配線する前に、アンテナコードの番号と「フィルムアンテナの取り付け」で指定されたフィルムアンテナの位置を確認し、セロハンテープ等で仮止めます。アンテナコードのアンプ給電端子の先端部が、フィルムアンテナに届くように調整してください。

5) アンプ裏面の保護シートをはがす。



6) アンプをフィルムアンテナに取り付ける。

アンプの右端と下側を基準にフィルムアンテナ黒印刷部にアンプを取り付ける。



- 給電端子は正しい位置に取り付けてください。端子のズレや浮き等の原因になり、本機の性能が発揮できません。

- 2) タグ[Ⅰ]の透明フィルムをゆっくりはがして、フィルムアンテナをしっかりとガラスに密着させる。

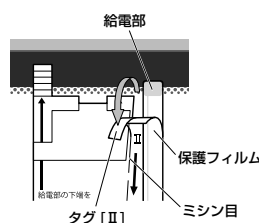
※ イラストは縦貼りですが、横貼り(左右)も同様に作業してください。



- フィルムの上からアンテナ線を中心に指で強く押す(困難な場合は、樹脂ヘラを使用)。
- 給電部は、気泡が残らないように強めに押しつけてください。
- 気泡が入ったり、しわが寄ったりしないように端から貼り付けてください。
- 一度アンテナがフロントウィンドウに貼り付くと、貼り直しができないので注意してください。

- 3) フィルムアンテナがフロントウィンドウに定着していることを確認しながら、タグ[Ⅱ]と保護フィルムを台紙のミシン目に沿いながらゆっくりとはがす。

※ イラストは縦貼りですが、横貼り(左右)も同様に作業してください。



- ※ 保護フィルムと一緒にアンテナがはがれる場合は、保護フィルムを一度もとに戻しアンテナ線を中心に強く押して定着させてから再度はがしてください。
- ※ アンテナを柔らかい布等で上から押さえつける。
 - アンテナの上から丁寧に押さえつけてください。
 - 給電部には、直接手で触れないでください。皮脂等の汚れが付着すると給電部が錆びて本来の性能が発揮できなくなります。

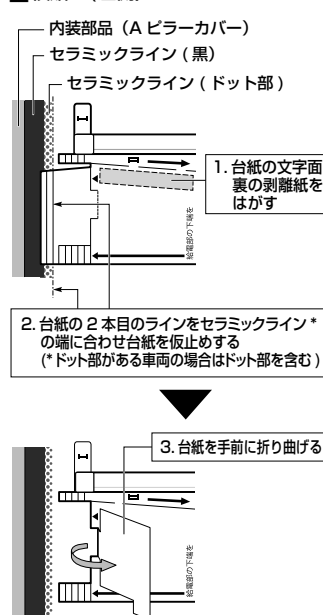
4) コードを配線する。

- 実際に配線する前に、アンテナコードの番号と「フィルムアンテナの取り付け」で指定されたフィルムアンテナの位置を確認し、セロハンテープ等で仮止めます。アンテナコードのアンプ給電端子の先端部が、フィルムアンテナに届くように調整してください。

テレビ用フィルムアンテナ(B)を取り付ける

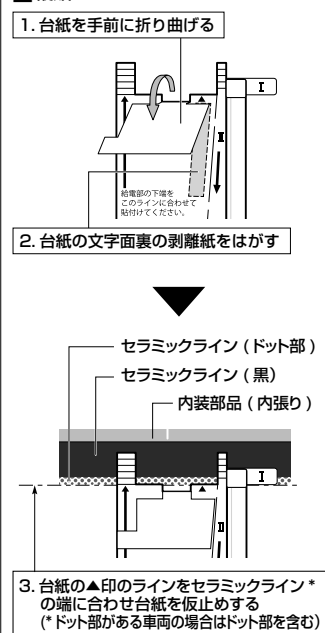
- 1) 下図を参照しフィルムアンテナがセラミックラインに垂直になるよう貼り付ける。

■ 横貼り (左側)

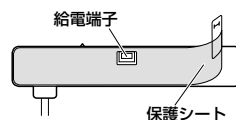


※ イラストは左側ですが右側も同様に作業してください。

■ 縦貼り



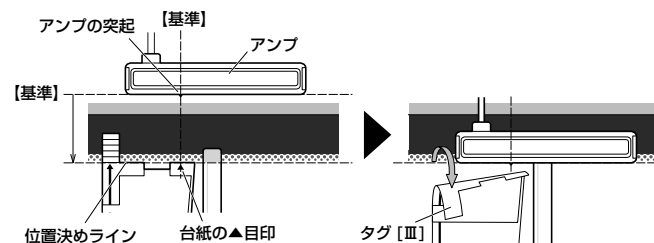
5) アンプ裏面の保護シートをはがす。



6) アンプをフィルムアンテナに取り付ける。

アンプの突起と台紙の▲目印、およびアンプの下端と台紙の位置決めラインを基準にアンプを取り付ける。

※ イラストは縦貼りですが、横貼り(左右)も同様に作業してください。



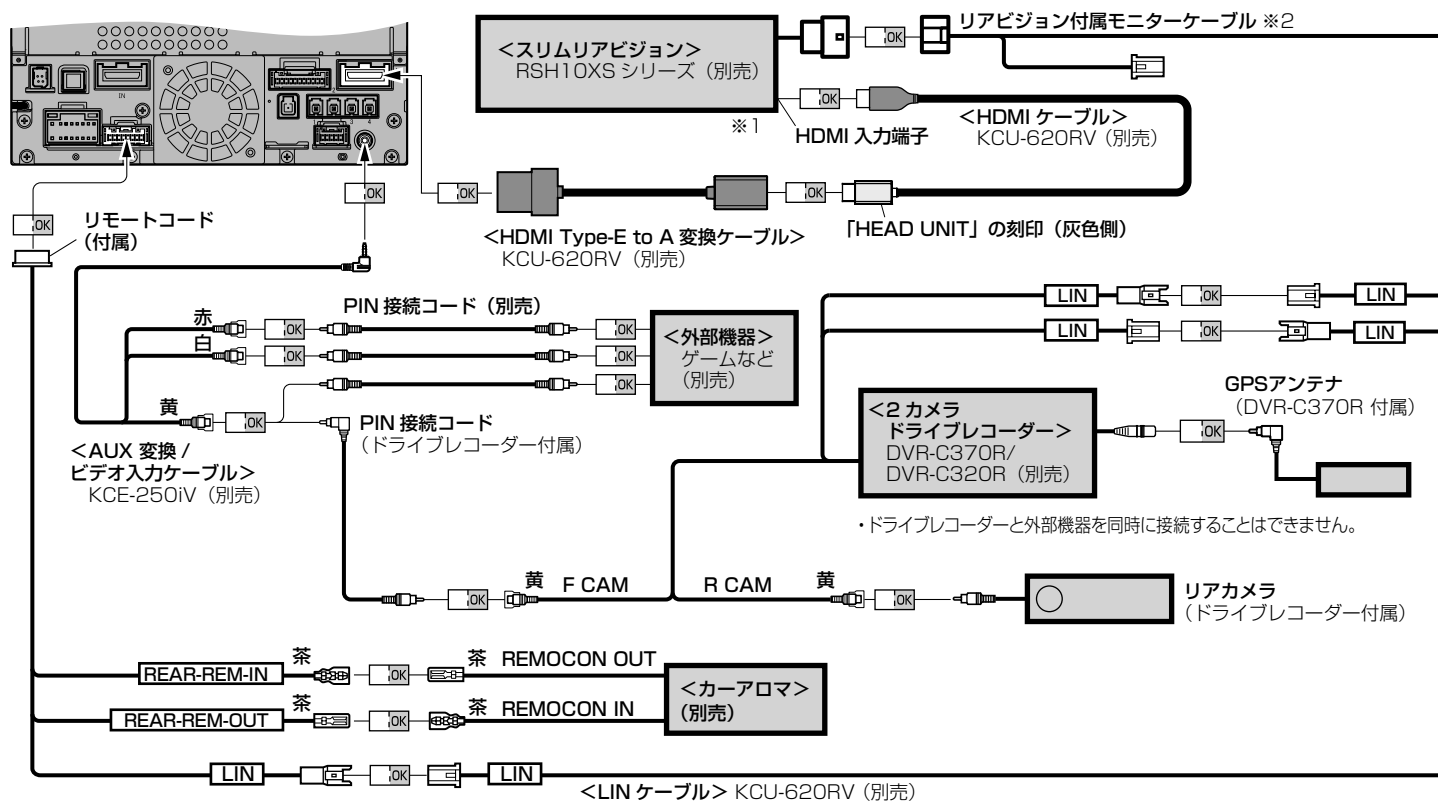
- 給電端子は正しい位置に取り付けてください。端子のズレや浮き等の原因になり、本機の性能が発揮できません。

システムアップの例

接続する製品の取扱説明書および取付説明書もあわせてご覧ください。

リアビジョンとカーアロマ/ドライブレコーダー/外部機器を接続する

HDMI 対応リアビジョンを接続する場合

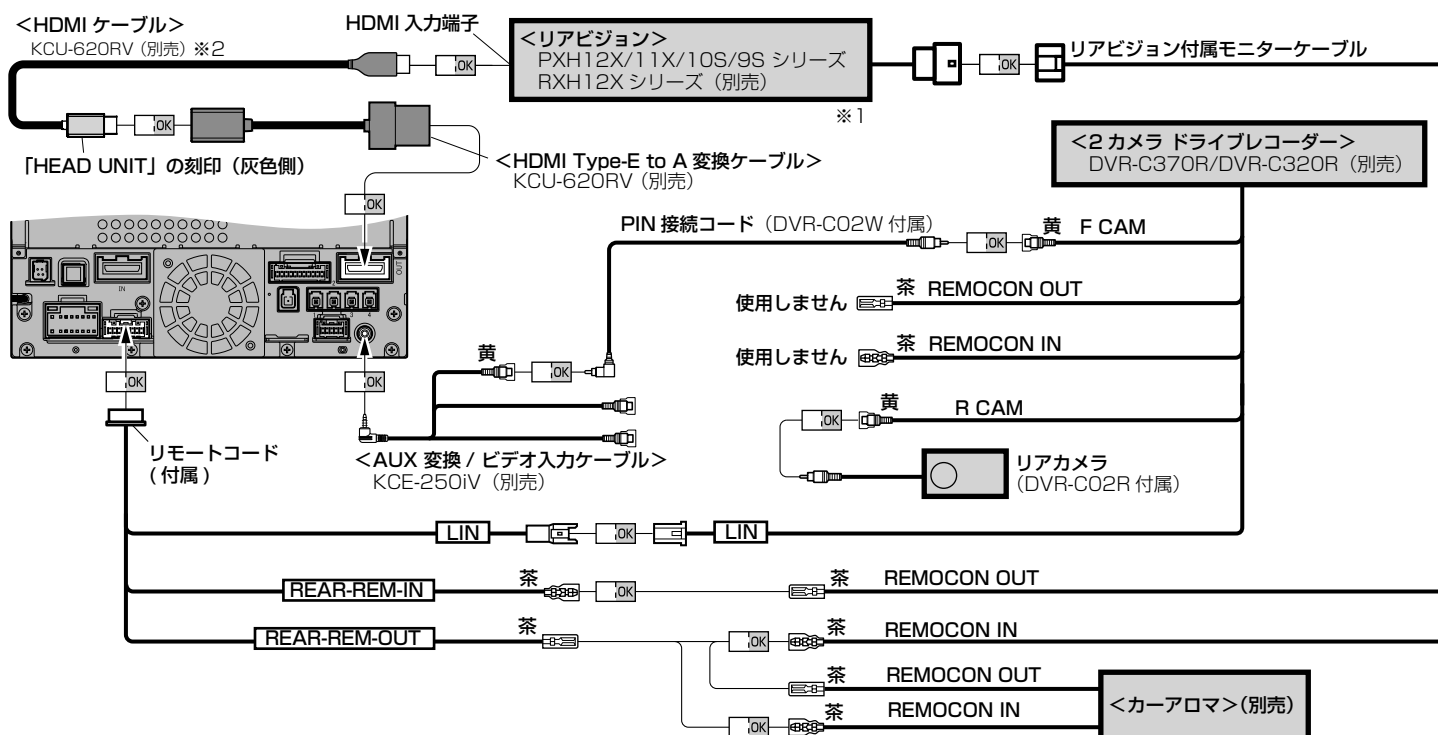


※1 スリムリアビジョン以外のリアビジョンの接続方法は下記の「スリムリアビジョン以外のリアビジョンを取り付ける場合」を参照してください。

※2 スリムリアビジョンの生産時期によりケーブルの仕様が異なる場合があります。リアビジョン付属の取扱説明書を参照してください。

スリムリアビジョン以外のHDMI対応リアビジョンを取り付ける場合

・リアビジョンとドライブレコーダー、カーアロマを同時に接続する場合は、REMOCON コードの接続順序を必ず本接続例に沿って接続をしてください。

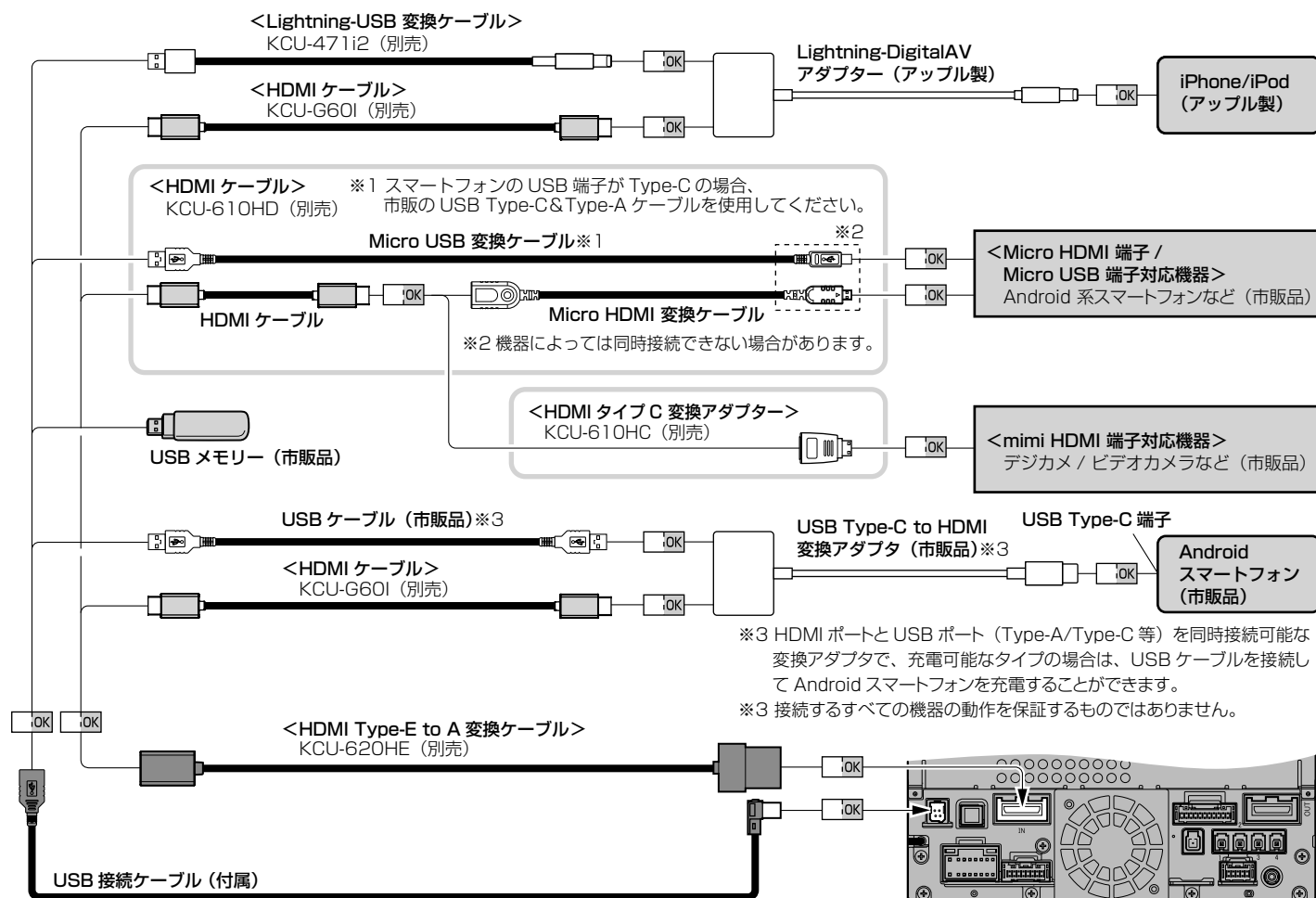


※1 リアビジョン側の設定に「コーディネートカラーコントロール」/「プラズマクラスターコントロール」がある場合は、必ず「ナビ」に設定してください。

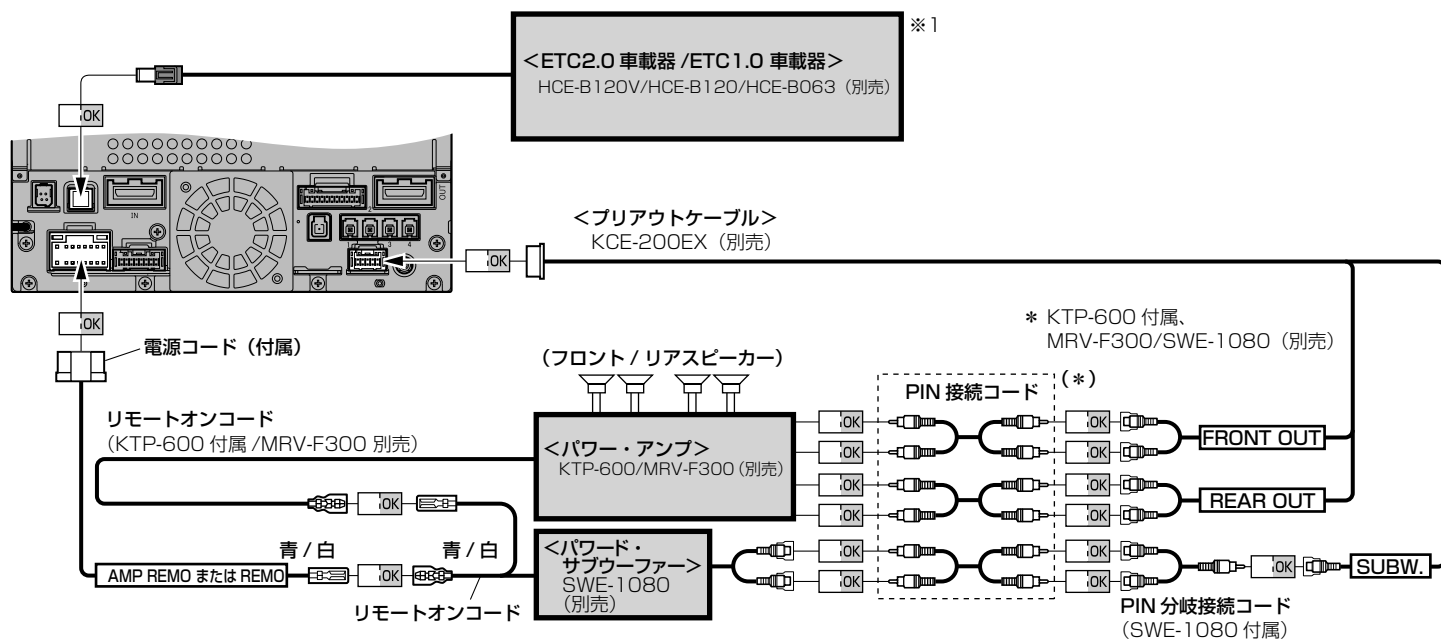
※2 KCU-620RVに付属のLINケーブルは使用しません。

iPhone やスマートフォン、USBメモリーなどを接続する

- ・複数の機器を同時に接続することはできません。
 - ・接続する機器を車の中に放置したままにしないでください。車室内の熱による故障の原因になります。
 - ・本機へHDMI 接続する場合は、それぞれHDMI端子タイプに対応した別売の接続ケーブルが必要です。別売の接続ケーブルによってはHDMI ケーブルとUSB接続ケーブルが付属されている場合があります。
- HDMIケーブルは、共通で使用できますが USB ケーブルは使用できません。本機付属のUSBケーブルを使用してください。



ETC2.0/ETC1.0車載器、パワーアンプ/パワード・サブウーファーを接続する

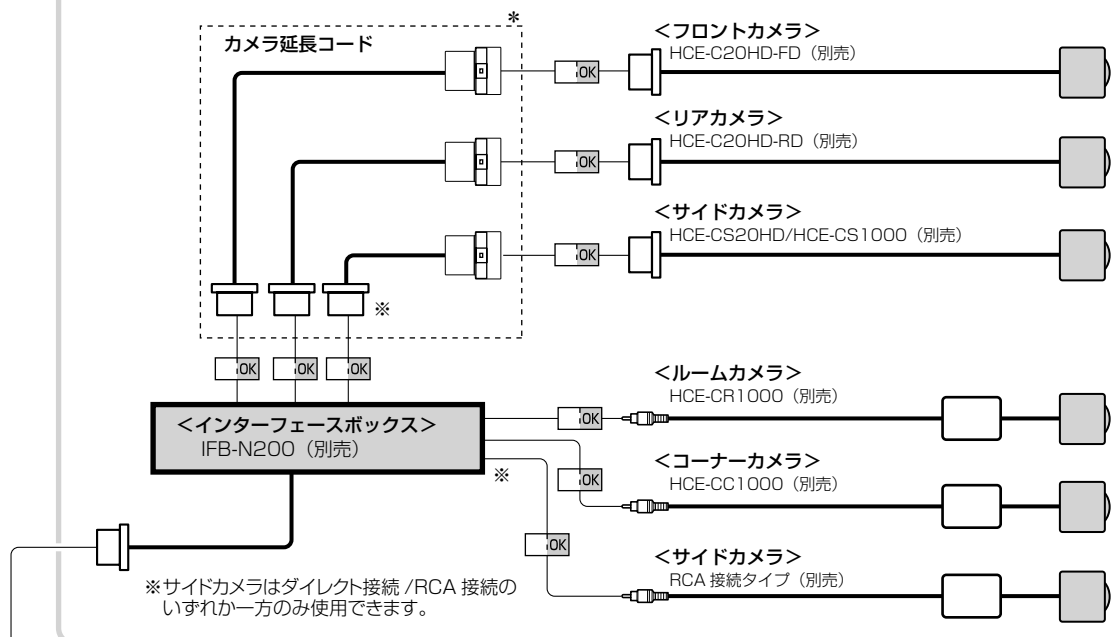


※1 ETC2.0 車載器とETC 車載器を同時に接続することはできません。

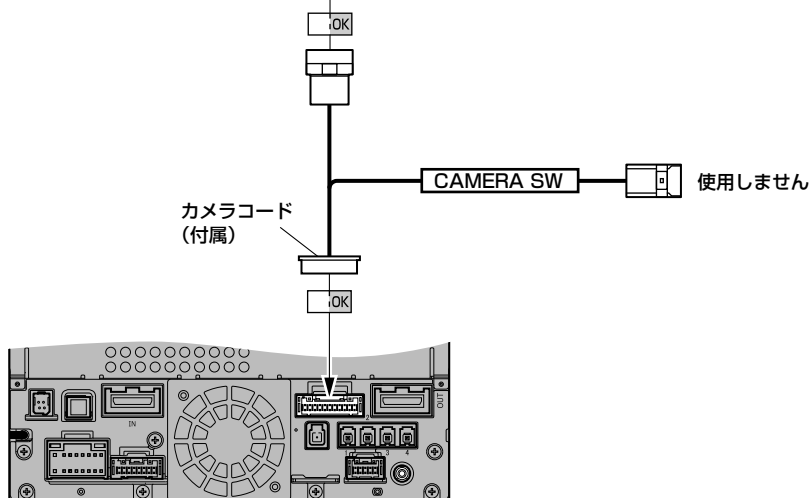
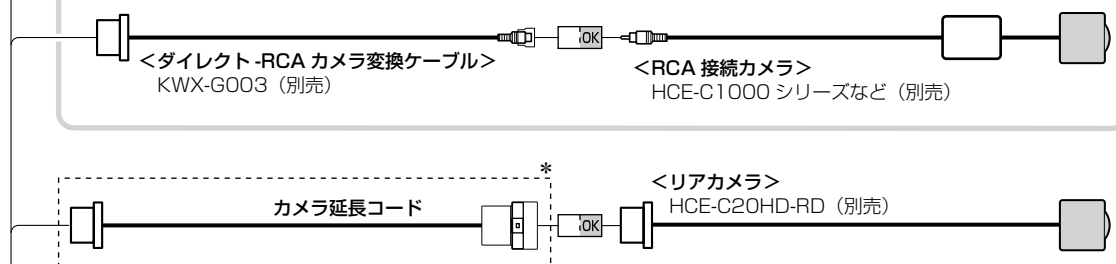
カメラを接続する

接続するカメラによって、別売のカメラダイレクトケーブルや車種専用カメラ取付キットが必要な場合があります。
詳しくはアルパインホームページの製品適合情報 (https://www.alpine.co.jp/fitting_guide/) および、各製品の取付説明書を参照してください。

◇ 複数のカメラを取り付ける場合



◇ RCA 接続タイプのカメラを取り付ける場合



4. クイックセットアップ(販売店設定)を行う

取り付け完了後、初回起動時に「ようこそ」画面が表示されます。



ようこそ画面の **はじめる** にタッチすると、お客様のお車専用の音質設定や販売店登録、メンテナンスなどの設定を行います。

本設定終了後は、お客様向けクイックセットアップを行います。

お客様向けクイックセットアップについては、本機付属の取扱説明書「1. はじめに」-「クイックセットアップをする」を参照してください。

ここでは、販売店向けクイックセットアップの流れについて説明します。

クイックセットアップを行う前の事前確認

リアビジョンが接続されている場合で、リアビジョン側の設定に[コーディネートカラーコントロール/プラズマクラスターコントロール] 設定がある場合は、本設定を行う前に必ずリアビジョン側を[ナビ]に設定してください。

1 ようこそ画面の **はじめる** にタッチする。

車種選択画面が表示されます。

2 画面の指示に従って車種/各外部機器の接続有無を選択し、**決定** にタッチする。

<設定項目>

- 車種選択(メーカー / 車種 / グレード)
- カメラ接続※1
- スピーカー選択(サブウーファー)
- ステアリングリモコン選択
- リアビジョン選択

※1 カメラによっては接続を検出して自動で設定されます。また、選択した車種に設定がないカメラの種類は設定できません。

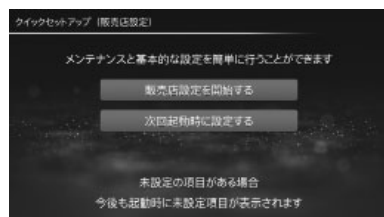
- 選択した車種により設定項目が異なる場合があります。

各設定が終了すると確認画面が表示されます。

決定 → **はい** にタッチすると再起動します。

3 再起動後、クイックセットアップ(販売店設定)画面が表示されます。

販売店設定をする にタッチしてください。

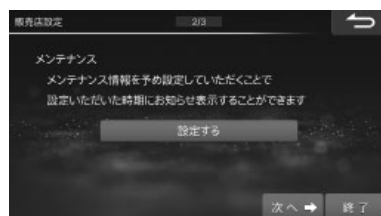


4 販売店設定画面の **設定する** にタッチし、**地図から** **電話番号から** **住所から** のいずれかの方法で販売店登録を行ってください。



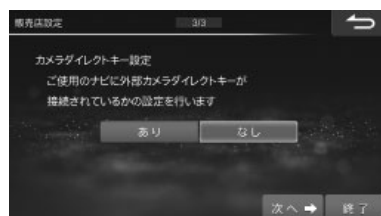
- 設定完了後、**次へ** にタッチするとメンテナンス設定画面が表示されます。

5 メンテナンス画面の **設定する** にタッチし、オイル交換時期やタイヤ交換時期・車検時期等各項目を設定します。



- 設定完了後、**次へ** にタッチするとカメラダイレクトキー設定画面が表示されます。

6 カメラダイレクトキー設定画面の **あり** または **なし** にタッチします。



※ 手順4から6までの各設定項目を未設定のまま **次へ** にタッチした場合は、クイックセットアップ画面が表示されます。また、**終了** にタッチした場合は、販売店向けクイックセットアップが終了します。設定されなかった項目は、電源を入れるたびに販売店向けクイックセットアップ画面が表示されますので必ず設定を行ってください。

7 カメラダイレクトキー設定が完了したら画面の **終了** にタッチし、確認メッセージの **はい** にタッチしてください。

販売店向け専用チューニングが完了します。

販売店向けクイックセットアップ完了後は、お客様へ設定した内容をお伝えください。

5. 接続状態を知る

取り付けが終わったら、配線が正しく接続されたか確認をしてください。

本体の電源を入れて、GPSアンテナ、電源コード、周辺機器の接続状況を画面表示で確認することができます。また、本機の動きがおかしいときにも見てください。接続しているのに、「未接続」と表示されたらコード類を確認しましょう。

1 [△]スイッチを押します。

ナビメニュー画面が表示されます。

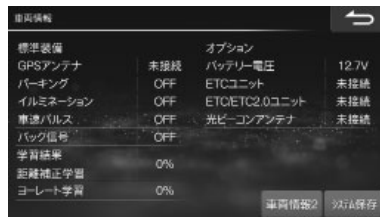
2 情報/更新 にタッチします。



3 車両情報 タブにタッチし、車両情報 にタッチします。



車両情報画面が表示されます。



- 車速パルスは、停車時等車速が入っていない時はOFFと表示されます。

6. テレビの初期設定を行う

本機で初めてテレビを見るには、受信可能なチャンネルを登録する初期設定が必要です。

<チャンネルを登録する>

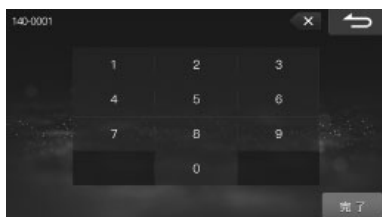
1 [J]スイッチを押します。

オーディオメニュー画面が表示されます。

2 ソース ▶ TV の順にタッチします。



3 お住まいの地域の郵便番号を入力し、完了 にタッチします。



4 お住まいの地域のタブにタッチして切りかえ、地域名にタッチし、完了 にタッチします。



5 お住まいの地域タブにタッチして切りかえ、県域にタッチし、ホームスキャン にタッチします。



ホームモードスキャンが実行されます。

スキャンしたチャンネルはホームモード(お住まいの地域のモード)のプリセット番号に自動的に記憶されます。

- ホームモードスキャンはしばらく時間がかかります。スキャンが終了するまでしばらくお待ちください。

7. 車種専用チューニングを行う

本製品には下記の車種専用チューニングデータを格納しております。

【格納車種】

<セレナ【C27 MC 後】>

- ・セレナ【R1/8-】AM (初期設定)
- ・セレナ【R1/8-】
- ・セレナ ハイウェイスター【R1/8-】AM
- ・セレナ ハイウェイスター【R1/8-】
- ・セレナ e-POWER【R1/8-】AM
- ・セレナ e-POWER【R1/8-】
- ・セレナ e-POWER ハイウェイスター【R1/8-】AM
- ・セレナ e-POWER ハイウェイスター【R1/8-】
- ・セレナ AUTECH【R1/8-】AM
- ・セレナ AUTECH【R1/8-】
- ・セレナ e-POWER AUTECH【R1/8-】AM
- ・セレナ e-POWER AUTECH【R1/8-】

※アラウンドビュー装着車は末尾に「AM」が付くデータを選択してください。

生産時期によって格納されている車種専用データは異なる場合があります。
最新の車種専用データはアルパインホームページからダウンロードできます。
<https://www.alpine.co.jp/support/download/>



【ご注意】

以下の場合のみ車種専用チューニングが必要となります。以下手順にて操作してください。

- ・初期設定の車種 / グレード以外に変更する場合。
- ・リアビジョンを追加する場合。
- ・初期設定以外のカメラ等のオプション品を取り付ける場合。

■車種専用チューニングの手順

車種 / グレード、組み合わせる製品によって設定が異なります。以下手順にて操作してください。

【操作手順】

製品起動時に「ようこそ」画面が表示された場合は **はじめる** にタッチしてください。(車種専用チューニング画面へ移行します)
「ようこそ」画面が表示されない場合は以下手順で設定を行ってください。



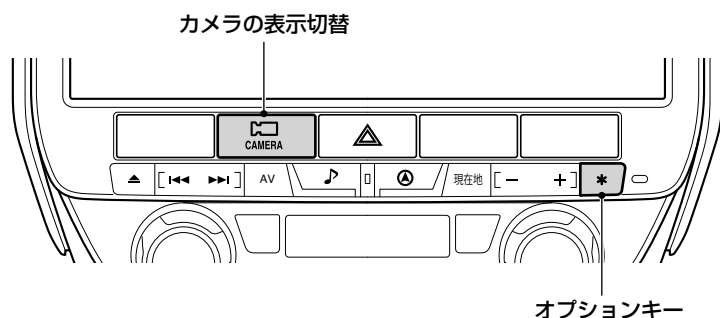
1. **(A) (メニュー)スイッチ ▶ 設定 ▶ 車種専用チューニング ▶ 車種選択 ▶**
2. **メーカーを選択 ▶ 決定 ▶ 車種を選択 ▶ 決定**
3. **接続機器の設定 ▶ 決定**
 - ・カメラ接続
 - ・インターフェースボックス リアカメラ接続 : **リアカメラ 純正バックカメラ (アラウンド)**
※バックビューカメラ (別売) を接続する際は、カメラのモデル名を選択してください。
 - ・インターフェースボックス フロントカメラ接続 : **カメラあり** または **カメラなし**
※インテリジェントアラウンドビュー非装着車の場合は **カメラなし** に設定してください。(初期設定: **カメラあり**)
 - ・インターフェースボックス サイドカメラ接続 : **カメラなし**
 - ・インターフェースボックス ルームカメラ接続 : **ルームカメラ なし**
 - ・サブウーファー : **あり** または **なし**
 - ・ステアリングリモコン : **設定する**
 - ・リアビジョン : **あり** または **なし**
※リアビジョン設定がある車種を選択している場合のみ、リアビジョン選択画面が表示されます。
4. **設定内容を確認 ▶ 決定 ▶ メッセージを確認 ▶ はい**
5. **再起動後、設定した車種のオープニング画面で起動すれば設定終了です。**



車両「CAMERA」キーを押した際、ナビゲーションフロントカメラ画面へアラウンドビュー映像を表示できます。
ナビゲーションのオプションキー(*)およびボイスタッチ(ナビゲーションの取扱説明書P.25～27、30)にて、フロントカメラ画面が表示できます。

8. 操作の仕方

<ナビゲーション側にインテリジェントアラウンドビューモニターの映像を映す>



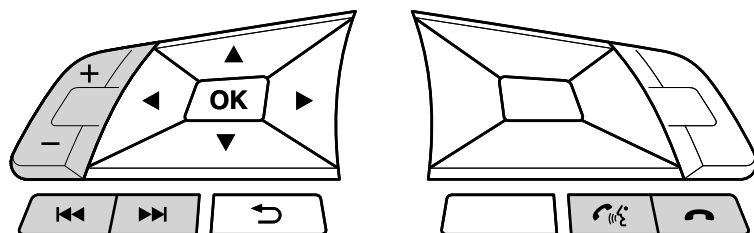
※車両の装備によってスイッチの種類、位置が異なりますので「CAMERA」(カメラの表示切替スイッチ)の位置を確認してください。

1. [*](オプションキー)を押す。もしくは「フロントカメラ」と発話する。
2. ナビゲーション画面にインテリジェントアラウンドビューモニターの画像が表示される。
3. 「CAMERA」(カメラの表示切替スイッチ)を押して表示したい映像に切り替える。



- [*](オプションキー)にフロントカメラを登録する必要があります。⇒ナビゲーションの取扱説明書 P.30
- 「CAMERA」ボタンの操作に関しては車両の取扱説明書をあわせて参照してください。

<純正オーディオステアリングスイッチで操作する> (オーディオ用ステアリングスイッチ装着車の場合)



+	オーディオの音量のアップ/ダウン
← →	選曲/選局のアップ/ダウン
📞	受話(ハンズフリー画面時) ダブルゾーンコミュニケーションON/ OFF(非ハンズフリー画面時)
📞	終話(ハンズフリー画面時) ダブルゾーンコミュニケーションON/ OFF(非ハンズフリー画面時)

MEMO

(令和4年11月現在)

お問い合わせ窓口

- 製品に関するご相談／お問い合わせは、お買い上げ店または下記の「製品ご相談窓口」をご利用ください。
- 修理に関するお問い合わせは、下記「修理ご相談窓口」をご利用ください。
- ご相談窓口の名称・電話番号・所在地は、変更になる場合があります。

製品ご相談窓口

お問い合わせはインフォメーションセンターへ

●インフォメーションセンター

<電話でのお問い合わせ>

TEL：0570-006636

※全国どこからでも市内通話料金でご利用頂けます。
(携帯電話・PHS：20秒10円)

一部のIP電話など、接続できない場合は次の番号を
ご利用ください。

TEL：03-6704-4926、または03-6747-4221

<メールでのお問い合わせ>

ホームページのお問い合わせフォームより
受け付けています。



<FAXでのお問い合わせ>

FAX：045-522-8700

<LINEでのお問い合わせ>

「友だち追加」から友だち追加できます。
※LINEアカウントをお持ちでない場合には、
LINE会員登録が必要になります。



- 電話受付時間（土曜・日曜・祝日・弊社休業日を除く）
月曜～金曜 9：30～17：30
- アルパインホームページ <https://www.alpine.co.jp>
アルパイン製品に関してのご質問と回答をご紹介します。

修理ご相談窓口

●アルパインカスタマーズサービス（株）東日本サービスセンター

担当エリア	北海道/青森/岩手/秋田/山形/宮城/福島/栃木/茨城/群馬/東京/神奈川/埼玉/千葉/新潟/長野/山梨
営業時間	048-664-9711 受付時間：月～金曜日 9:30～17:30（日曜・祝日・弊社休業日を除く）
所在地	〒331-0812 埼玉県さいたま市北区宮原町2-7-2

●アルパインカスタマーズサービス（株）西日本サービスセンター

担当エリア	静岡/愛知/岐阜/三重/福井/富山/石川/滋賀/京都/大阪/和歌山/奈良/兵庫/岡山/島根/鳥取/広島/山口/香川/愛媛/徳島/高知/福岡/佐賀/大分/熊本/長崎/宮崎/鹿児島/沖縄
営業時間	06-6386-4130 受付時間：月～金曜日 9:30～17:30（日曜・祝日・弊社休業日を除く）
所在地	〒564-0044 大阪府吹田市南金田1-5-7